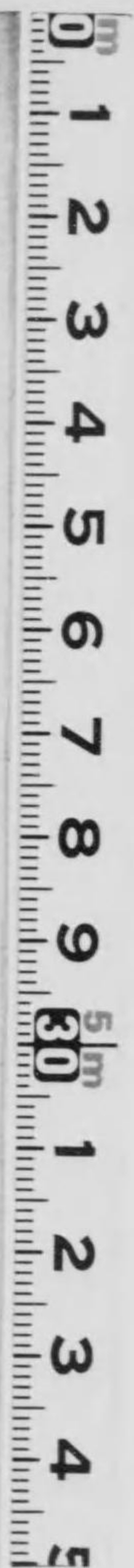


1424
134

大正三年四月

大正二年度業務功程

愛知縣立農事試驗場



始





緒言

本報ハ大正二年度ニ於ケル當場業務ノ

ヲ輯録シタルモノナリ

大正三年四月

愛知縣立農事試驗場



大正二年度業務功程目次

種 藝 部

一、試驗事業……………	一頁
水 稻……………	全頁
陸 稻……………	八頁
麥 類……………	九頁
二、麥芽用大麥試驗……………	一一頁
三、委託試驗……………	一三頁
四、採種田……………	一五頁
五、種子ノ配布……………	全頁
六、農具ニ關スル試驗……………	一六頁
農藝化學部	
一、試驗事業……………	一八頁

水	稻	一八頁
二、依頼分析	二一頁
三、野鼠チブス菌配布	二二頁
四、調査事項	二三頁

園藝部

果	樹	二四頁
一、試驗事業	全頁
桃、梨、葡萄、柿、枇杷其他ノ種類試驗	全頁
整枝試驗	三三頁
桃、梨、葡萄ノ肥料試驗	三四頁
葡萄、蜜柑ノ病害試驗	三七頁
二、果樹園ノ整理及手入	三八頁
三、委託試驗	四〇頁
四、家庭果樹園	四一頁

五、花卉及温室	四一頁
六、間作物	四二頁
七、種苗配布	四三頁
蔬	菜	四五頁

一、試驗事業	全頁
種類ニ關スル試驗	四八頁
肥料ニ關スル試驗	五三頁
病虫害ニ關スル試驗	五五頁
汀南竹ニ關スル試驗	五六頁
二、試作	五七頁
三、輪栽模範栽培	五八頁
四、促成栽培	六〇頁
五、玻璃室栽培	六一頁
六、軟化栽培	全頁
七、種苗ノ配布	全頁

八、委託採種温室……………六五頁

温室……………六六頁

一、花卉種類……………全頁

二、花粉交配試驗……………七〇頁

三、切茂用花卉ノ促成……………全頁

四、葡萄種類試驗……………七一頁

五、其他……………全頁

畜産部

一、試驗事業……………七二頁

 鶏ノ種類、飼料ニ關スル試驗……………全頁

二、種禽ノ繁殖並ニ種禽種卵ノ配布……………七七頁

三、委託試驗……………七八頁

四、養豚……………七九頁

雜之部

一、出張……………八〇頁

二、印刷物……………全頁

三、文書受發……………八一頁

四、參觀人……………全頁

五、職員……………八二頁

種藝部

一、試驗事業

主下シテ前年ト等シク縣下重要農作物タル水稻陸稻麥類等ニ就キ種類耕種肥培收穫等改良増殖ニ關スル試驗ヲ施行シタリシガ本年度夏作以後ハ敷地移轉ニヨリ地力均等用惡水ノ灌排設備ノ整頓等ノ上ニ於テ試驗施行上諸種ノ困難ナル事情ニ遭ビベキヲ豫想シ從來繼續セル試驗ニシテ成績分明ニ近キモノハ可成前年度ヲ以テ完了トシ概ネ新機軸ヲ開ク事トセリ而シテ本年度ノ業務ノ從前ト異ナルトコロハ概シテ應用的態度ヨリ研究的態度ニ傾キタルコトニシテ隨テ各試驗ノ調査ハ從來ニ比シ一層細ヲ求メ微ヲ穿チ依テ以テ試驗成績ノ正鵠ヲ失ハザル様努メタリ作物生育中ノ氣象ハ幸ニ大ナル異變ナカリシト雖モ十月三日稻ノ稔實初期ニ際シ稍強烈ナル風雨アリテ幾分試驗ノ成績ニ障害ヲ來セルハ遺憾ナリキ今成績事項ノ主ナルモノ及其ノ成績ノ概要ヲ摘記スレバ左ノ如シ

水稻ノ部

一、豊凶考照試驗 本試驗ノ目的ハ年々同一地ニ全一種類ヲ全一ノ耕種法ニヨリ

テ栽培シ一定ノ時期ニ測定セハ生育ノ狀況ヲ既往ノモノト比較シ之ニヨリテ其ノ年ノ豊凶ヲ豫察スルノ資トナスニアリ本年ハ敷地移轉ニヨリ既往ノモノトノ關係ヲ全ク絶タザルベカラザルニ至リタルヲ以テ主トシテ氣象ノ變化及作柄ヲ考察シテ豊凶ヲ豫想シ所定ノ時期ニ數回之ヲ諸官衙ニ報告及通信セリ

二、水稻種類試驗 從來試驗ノ結果優良ナルモノ二十六種ニツキ其ノ特性收量ヲ檢シ廣ク縣下ニ適應セル種類ヲ見出サントスルニアリ其ノ成績ハ柏原神力、相德、宇佐錦、新關取等優良ノ結果ヲ示セリ

三、縣下稻種特性比較試驗 本試驗ハ縣下各地ニ栽培セル水稻種類ヲ廣ク蒐集シテ之ヲ全一ノ狀態ノ下ニ栽培シ各種ノ特性ヲ比較研究シ之レガ分類ヲナサントスルニアリ、供試品種ハ縣下各町村ニ亘リテ八百二十九種ヲ採取栽培シタルガ精密ナル特性調査ノ結果ニヨリ全種異名及全名異種極メテ多ク頗ル難駁ニシテ且各地ニ亘リテ極メテ劣要不純ナル稻種ノ栽培セラル、ヲ認メ改良ノ急務ヲ痛切ニ首肯スルヲ得タリ

四、雜種分離遺傳試驗 本試驗ハ人工交種ニヨル雜種第二代ニ就キ「メンデリズム」ニ隨テ分離スル狀態ヲ觀察調査シ併セテ神力×愛國ニ就キ既ニ撰擇ヲ加ヘタ

ル第五代ノ固定如何ヲ試驗セントスルモノニシテ其ノ結果ハ第二代ニ於テハ稻ノ出穂、成熟期、稈長、分蘖、稈ノ細太、葉ノ色合、狀態、穗ノ大小、芒ノ有無、糊芒及雌蕊ノ色彩、粉脫落ノ難易、粒ノ大小等ノ特性ハ凡テ「メンデリズム」ニ從ツテ分離スルヲ認メ第五代ニ於テハ全ク固定セル有望品種三種ヲ得タリ

五、雜種比較試驗 幾内支場ニ於テ人工交雜ニヨリ創作セル品種中有望ト認メタル數種ニツキ其ノ特性收量ヲ檢スルヲ目的トシ其ノ成績ハ中等六號全六十九號、晚稻四號、五十一號、十五號等ハ大ニ有望ナルヲ認メタリ

六、神力在來種子比較試驗 從來農家ノ栽培セル神力種ニシテ毫モ改良撰擇ヲ加ヘザルモノヲ縣下各地ヨリ取寄セ、其ノ形態變化及交雜ノ有無多少ヲ比較セントスルモノニシテ其ノ結果ハ在來種子ハ何レモ多數ノ交雜ヲ有シ概テ劣變セルヲ認メタリ

七、分蘖及出穂遺傳試驗 本試驗ハ神力、相德ノ兩種ニツキ前年ニ於テ分蘖數ノ多少ニヨリ階段的ニ採種シ其ノ遺傳力ノ有無程度ヲ檢シ又出穂ノ早晚ニ就テモ全樣遺傳力ノ有無ヲ檢セントスルニアリ其ノ成績ハ稍分明ヲ欠クト雖モ概シテ兩者共多少遺傳力ヲ有スルガ如シ

- 八、品種形質變化遺傳力試驗 本試驗ハ拾數品種ノ水稻中ヨリ撰擇セル形質ノ變化シタルモノニツキ其ノ遺傳力如何ヲ確メントスルモノニシテ其ノ結果ハ大部分確實ナル遺傳力ヲ認メ何レノ品種モ儘ニ數多ノ純系ヲ有スルヲ示シタリ
- 九、豫備種類試驗 本試驗ハ全國ニ於テ比較的著名ナル種類、他府縣ニ於テ優良ト認メタル種類等四十八種ニツキ豫備的ニ特性ノ概要ヲ調査セリ
- 一〇、變異及純系撰抜試驗 本試驗ハ從來特ニ淘汰ヲ加ヘザル神力、早生神力ニツキ諸種形質ノ變異及優良ナル純系ヲ撰抜セントスルモノニシテ兩種中ヨリ有望ト認ムル株數十宛ヲ撰抜セリ
- 一一、雜種第一代育成 前年人工交種ヲ行ヒタル雜種五十二種ヲ植木鉢ニテ培養シタリシガ其大部分ハ確實ニ目的ヲ遂グ且ツ諸種單位形質ノ優劣ヲ調査決定スルヲ得タリ
- 一二、耕土深淺試驗 本試驗ハ耕土ノ深淺ガ稻ノ生育收量ニ及ボス關係ヲ確カメントガ爲メニ行フ所ニシテ耕土ノ深サハ三寸ヨリ九寸ニ至リ各普通肥料、全三割減、全三割増ノ三種ニ區別シタリシガ其ノ成績ハ耕土ノ深サト肥料ノ多キトニ隨ツテ收量多キヲ示シ明カニ深耕ノ利益ヲ認メタリ

- 一三、移植法試驗 本試驗ノ目的ハ一定面積ニ栽培スベキ株數等シキ場合ニ於ケル株間ノ長短遠近ガ稻ノ生育收量ニ及ボス關係如何ヲ試ミントスルモノニシテ其ノ成績ハ未ダ判明ナラズ尙重テ繼續試驗スルノ要アルヲ認メタリ
- 一四、移植株數試驗 本試驗ノ目的ハ全一面積ニ栽培スベキ株數ノ多少ガ稻ノ生育收量ニ及ボス關係如何ヲ確メントスルニアリテ其成績ハ概ネ密植ニ利アリト雖モ四十五株以上ハ大差ナキヲ示セリ
- 一五、種子熟度試驗 本試驗ノ目的ハ早中晩ノ各種ニツキ種熟度如何ガ其ノ生育狀況ニ及ボス影響ヲ確ムルニアリ其ノ成績ハ未ダ分明ナラザルモ大ナル影響ナキガ如シ
- 一六、浸水被害査定試驗 本試驗ハ水稻生育期中ニ於ケル浸水期ノ長短ガ稻ニ與フル損害程度ヲ査定セントスルモノニシテ本試驗ハ不幸ニシテ十月三日夜ノ暴風雨ニヨリ著シク傷害ヲ受ケ隨ツテ收量ノ調査不能ニ了リシガ生育ノ狀況ヨリ畧ボ水害程度ヲ推定スルヲ得タリ即チ生育初期ニ浸水シタルモノハ一時著シク衰弱セルモ漸次恢復シテ出穂期ニ至レバ僅カニ被害ノ跡ヲ認ムルニ過ギス浸水時期ノ晚キニ隨ツテ其ノ害漸ク多ク穗孕期ニ五日以上浸水シタルモ

ノハ穂著シク短小トナリ莖葉軟化又ハ腐敗シテ頗ル慘害ヲ呈セリ

一七、收穫期對乾燥試驗 本試驗ハ收穫期ノ早晚並ニ乾燥ノ良否ガ米質及貯藏力ニ及ボス影響如何ヲ試ミントスルモノニシテ概ネ收穫ノ早晚ニ失シタルモノ及乾燥ノ程度足ラザルモノハ品質不良ニシテ收量少キノ結果ヲ示セリ

一八、雜種對病害抵抗力試驗 本試驗ハ病害ニ對シ抵抗力強キ品種ヲ育成スルノ目的ヲ以テ人工交種ヲ行ヘル數種ノ稻ニツキ稻熱病ノ多少ヲ檢シ且ツ該品種固定如何ヲ確カメントスルニアリ其ノ成績ニヨレバ己ニ數種ノ固定セルモノヲ生ジ且ツ概シテ病害少キヲ以テ尙今後精密ナル收量調査ノ結果ヲ俟テテ優良ナル新品種ヲ撰擇セントス

一九、二化螟虫ニ關スル調査 二化螟虫ノ經過被害狀況驅除法ニ關シ調査研究スルヲ目的トシ左ノ各期ニ分チテ調査ス

(一) 發蛾期調査 五月上旬ヨリ九月下旬ニ至ル間當場構内ニ毎夜誘蛾燈一個ヲ點ジ之ニヨリ螟蛾ノ發生時期及其ノ數ヲ調査セリ

(二) 第一回加害期調査 第一回加害期即チ心枯發生期中五日毎ニ一定ノ稻田中ヨリ採收セル心枯莖ニ就テ螟虫ノ棲存狀態ヲ調査セリ

(三) 第二回加害期調査 第二回加害期即チ枯穗發生期中五日毎ニ一定ノ稻田中ヨリ採收セル枯穗莖ニ就テ螟虫ノ棲存狀態ヲ調査セリ

(四) 越冬狀況調査 藁及刈株内ニ蟄伏越冬スル幼虫ノ狀態ヲ調査セリ

(五) 寄生蜂ノ調査 螟卵中ニ寄生スルアカタマゴバチノ狀況ヲ調査セントスルモノニシテ當場構内ニ於テ採收セルモノ及海部郡ニ於テ採收セルモノトノ二様ニ區別シテ行ヒタルニ何レモ多數ノ寄生蜂ヲ生ジ且ツ安城ノモノハ海部郡ノモノニ比シ寄生歩合多ク又採集時期ノ早キニ從ツテ其ノ歩合減ズルノ結果ヲ呈セリ

二〇、無機肥料連用試驗 本試驗ハ繼續四年目ノ土壤ニ就テ行ヒタルモノニシテ其ノ目的ハ無機肥料ニ屬スル硫酸アンモニア及石灰窒素ヲ連年施用シタル場合ト若干ノ有機肥料堆肥ヲ加用シタル場合トニ於ケル土壤ノ性質並ニ稻ノ生育ニ及ボス影響如何ヲ試ムルニズリ其ノ成績ハ未ダ甚ダシク無機肥料連用ノ害ヲ認メズト雖モ有機肥料ヲ加用シタルモノハ幾分健全ノ發育ヲナシタリ

二一、石灰加用試驗 本試驗ハ遲効肥料効驗促進ノ目的ヲ以テ石灰加用ノ適量ヲ知り併セテ之ガ連用ノ土壤ノ性質及作物ニ如何ナル影響アルヤヲ究メントス

ルモノニシテ繼續八年目ニ相當ス本年ノ生育ハ石灰ヲ加用シタルモノ良好ノ結果ヲ得タルガ一反歩六十貫以上ノ割ニ施シタルモノハ已ニ多少地力ヲ減耗シタル傾向アルヲ以テ生育不良ナリ

二二、肥料反應ニ關スル試驗 本試驗ハ肥料反應ノ如何ガ稻ノ生育ニ及ボス關係ヲ知ラントスルニアリ酸性、中性、塩基性ノ三様ニ配合試驗シタルモ其成績ハ未ダ判明ナラズ

二三、塩化滿俺加用試驗 本試驗ハ塩化滿俺ノ効驗如何ヲ水稻ニ就テ行ハントスルモノニシテ其ノ成績ハ幾分滿俺ノ効驗ヲ認ムルヲ得タリ

陸稻ノ部

一、種類試驗 従前ニ繼續シ陸稻優良品種ノ特性收量ヲ試驗スルモノニシテ本年度ノ成績ハ大畑早生、旱不知ノ兩種良好ノ結果ヲ得タリ

二、縣下陸稻特性比較試驗 縣下ニ栽培セラル、陸稻ノ品種ヲ弘ク蒐集シテ其ノ特性ヲ比較分蘖セントスルモノニシテ供試數四十二種中調査ノ結果十三種ニ集約スルヲ得且一般ニ不純劣悪ナルヲ認メタリ

三、形質變化遺傳力試驗 陸稻數種中形質ノ變化ヲ呈セルモノ四十八種ヲ取リ其ノ遺傳力如何ヲ試ミタリ其ノ成績ハ水稻ノ場合ト同ジク大部分確實ナル遺傳力ヲ有シ從來ノ品種中ニハ頗ル複雑ナル純系アルヲ認メタリ

麥類ノ部

(大正二年收穫ノモノ)

麥類ノ試驗ハ悉ク舊試驗地ニ於テ施行セルモノナリ生育ハ畧ボ順調ナリシモ五月上旬ノ降雹アリシ爲メ多少試驗ニ障害ヲ來セリ

一、大小裸麥種類試驗 本試驗ハ從來試驗ノ結果優良ナル大小裸麥各十一種ニツキ其特性收量ヲ檢セントスルモノニシテ本年度ノ成績ハ大麥ニアリテハ池林、ゴールデンメロン、三德、小麥ニアリテハ西國種揃、フルツ、中村、裸麥ニアリテハ橋倉、香川、コビンカタギ、等優良ナリ

二、優良品種肥培程度試驗 本試驗ハ大小裸麥中優良品種七種ニ就キ肥料ノ増加ニ對スル抵抗力如何ヲ試ミントスルモノニシテ大麥ニアリテハ穂揃小麥ニアリテハチク裸麥ニアリテハ香川比較的強キ成績ヲ得タリ

三、移植株間對本數試驗 本試驗ハ大麥ノ移植ヲ行フニ方リ株間ノ距離ト一株ノ

本數ニ依リ生育ニ如何ナル差異アルヤヲ知ラントスルモノニシテ其ノ成績ハ株間遠ク本數少キニ随ツテ生育遅延シ且ツ莖葉柔軟ニシテ自ラ收量少ク其適度ハ株間五寸一株八本ニナスノ結果ヲ示セリ

四、移植期試験 本試験ハ大麥移植時期ノ早晚並ニ其時期ニ於ケル直播移植ノ優劣ヲ比較セントスルモノニシテ本試験ハ特ニ雹害甚ダシキ爲メ成績確實ナラズト雖モ概シテ時期早キ程收量多ク且移植法ノ利益ヲ示シ時期遅クル、時ハ却ツテ直播ニ利アリ且一般ニ軟弱ノ生育ヲナセリ

五、畦幅試験 畦幅ノ廣狹ト肥料ノ増減ニヨル麥生育ノ差異ヲ驗知セントスル本試験ノ成績ハ稍分明ヲ欠クト雖モ概シテ廣狹何レニ偏スルモ不利ニシテ二尺前後ヲ最モ適度トスルガ如シ

六、雜種比較試験 畿内支場ニ於テ人工交種ニヨリ創作セル大小麥ノ新品種ニツキ在來種トノ比較ヲ行フモノニシテ大麥ニアリテハ特ニ有望ナルモノナカリシガ小麥五號、九號、十七號等ハ最モ有望ナルヲ認メタリ

七、伊國種小麥試験 伊太利國ヨリ移入セル小麥十二種ニ就キ豫備的ニ其ノ特性ヲ調査セルモノニシテ何レモ晩熟ニ過ギ本縣ニ於テハ見込ミナシト斷定セリ

八、無機肥料連用試験 本試験ハ本年度ヲ以テ繼續十ケ年ニ相當ス其目的ハ無機肥料ニ屬スル硫酸安母尼亞、智利硝石ヲ連年施用スル場合ト之レニ若干ノ有機肥料(堆肥)ヲ加用シタル場合トニ於ケル土性ノ變化及作物ノ生育狀態ヲ驗知セントスルニアリ本年度ニアリテハ畧ボ前年ト等シク硫酸安母尼亞區ノ生育著シク不良ニシテ智利硝石區ハ稍不良ノ生育ヲナシ堆肥ヲ加用シタルモノハ然カラザルモノニ比シ何レモ良好ナリ

九、堆肥効驗試驗 前試験ノ如ク繼續九年目ニシテ其目的ハ堆肥ノ如キ粗大有機肥料ヲ連年多用シタル場合ニ土性、作物生育ノ狀態ニ及ボス影響ヲ罽粕ノ場合ト比較對照セントスルモノニシテ其ノ成績ハ未ダ判明ナラズ

一〇、石灰窒素効驗試驗 本試験ハ石灰窒素ノ効驗ヲ硫酸安母尼亞ニ比較セントスルモノニシテ本年度ノ成績ハ石灰窒素ノ効驗稍劣ルノ結果ヲ示セリ

一一、鹽化滿俺効驗試驗 其目的水稻試驗ニ等シク其ノ成績ハ判然ナラズ

一二、石灰加用試驗 本試験ノ目的ハ石灰連用ノ土性及作物生育ニ及ボス關係ヲ知ラントスルモノニシテ本年ノ結果ニヨレバ石灰ヲ加用セルモノ收量多シ

二、麥芽用大麥試驗

本試験ハ農商務省ノ委託ニ係ルモノニシテ本年度ニ於テハ左記試験ヲ行ヘリ

- 一、種類試験 本試験ハ大麥ノ如何ナル品種ガ多穫ニシテ而モ麥芽製造ニ適スルヤヲ知ラントスルモノニシテ農商務省農事試験場其他府縣農事試験場ヨリ優良ト認メラル、外國種大麥二十八種在來種二種計三十種ヲ取寄セ之等ニ就キ行ヘル本年度ノ成績ハ收量ニ於テハ、イフヒフエツシ、チユーリンゲル、穂揃、ライジンゲル種等優良ニシテ品質ニ於テハ、シユワソハルス、インビンシーブル、スワロフシバリエー一號等優良ナルガ如シ
- 二、各種窒素質肥料及其施與量ニ關スル試験 本試験ハ形態ヲ異ニセル各種窒素質肥料及其施肥量ガ大麥ノ收量並ニ品質ニ如何ナル關係アルヤヲ究メ其最適セル肥料ト施肥量ヲ知ラントスルモノニシテ本年度ノ結果ハ智利硝石反當十二貫七十匁、鍊粕全上二十一貫九十匁施セシモノノ收量多クシテ人糞尿及硫酸安母尼亞ハ成績不良ナリ品質ハ肥料ノ種類ノ影響ヨリモ寧ロ其分量ニ關係スル事大ナルガ如ク其施肥少量ナルモノ程概シテ優良ナリ
- 三、施肥期試験 本試験ハ施肥ノ早晚ガ大麥ノ收量並ニ品質ニ如何ナル關係アルヤ併セテ其適期ヲ知ラントスルモノニシテ本年度ノ成績ハ大豆粕ヲ全量元肥トシテ施シ糞尿ハ其ノ總量ヲ元肥及一月中旬二月下旬ノ三回ニ等分ニシテ施セシモノノ優良ニシテ施肥晚キモノ程不良ノ結果ヲ示セリ
- 四、播種期試験 本試験ハ播種ノ適期ヲ知ラシメガ爲メニ行ヘルモノニシテ本年度ニアリテハ十一月十五日播種區最モ優レリ
- 五、播種量試験 本試験ハ播種ノ適量ヲ知ラントスルモノニシテ一反步當參升前後適當ナル結果ヲ示セリ
- 六、豫備種類試験 本試験ハ種類試験以外ノ品種ニシテ比較的優良ナル種類二十種ヲ種類試験ニ準ジテ栽培セリ本年度ノ結果ニヨレバ獨逸四號、ハンナ、佛一號、フユルスト、ミツテララシキジユ、佛二號ノ各種優良ニシテ本年度下種ノ種類試験供試品種ニ編入セリ

三、委託試験

委託試験ハ氣候風土ノ關係ニヨリ場内ニ於テ行フ能ハザル特殊ノ試験又ハ試験成績普及ノ方法トシテ從來ノ成績ヲ應用シ其地方ノ狀況ニ鑑ミ模範的耕作ヲナシ當業者ノ注意ヲ喚起セシムルノ目的ヲ以テ行フ處ニシテ必要地ニ之レヲ設置セリ即

チ本年度ニ於テ行ヒタルモノ左ノ如シ

一、稻葉枯病ニ關スル試験

碧海郡矢作町

二、蘭作ニ關スル試験

碧海郡知立町

右試験ノ概況左ノ如シ

一、稻葉枯病試験 本試験ハ從來該病ノ發生甚タシキ地方ニ於テ品種ノ如何ニヨリ該病發生ノ多少ヲ試ミ抵抗力最モ強キ種類ヲ見出サントスルモノト八月下旬ヨリ九月中旬ニ至ル間即チ發病期前藥液ノ撒布ニヨリ豫防シ得ル効果ノ程度ヲ知ラントスルノ二様ニ施行セシガ本年ニアリテハ一般ニ該病ノ發生少ク從ツテ試験ノ成績甚ダ明瞭ヲ欠ケリ

二、蘭作ニ關スル試験

(一) 施肥法試験 本試験ハ蘭作肥料ニ就キ其適當ナル分施肥法ヲ知ラントスルニアリテ其成績ハ第一回追肥多用區最モ優リ毎回分量區之レニ亞グノ結果ヲ示セリ。

(二) 磷酸加里効驗試驗 本試験ハ蘭作ニ對スル磷酸及加里肥料ノ効驗程度ヲ査定セントスルモノニシテ本年度ノ成績ニテハ其ニ格別ノ効果ヲ呈セズ

四、採種田

優良ナル稻種普及ノ目的ヲ以テ當部ガ經營セル採種田ハ凡テ前年ニ繼續シ碧海郡安城町(舊試驗地)ニ五反歩全郡六ツ美村ニ五反歩計一町步ヲ設置シ特殊ノ方法ヲ以テ最モ嚴密ナル注意ノ下ニ施行セリ本年ノ作況ハ畧ボ順調ニシテ只安城町所在ノモノハ十月三日ノ暴風ニヨリ幾分損傷ヲ受ケタルモ六ツ美村所在ノモノハ終始完全ナル發育ヲナシ最モ自信アル良種子ヲ多量ニ收穫スルヲ得タリ、種子ノ生産量ハ完全ニ選種ヲ了シタルモノ神力種十二石四斗八升其他ノモノ七石一斗三升合計十九石六斗一升ニシテ主トシテ郡市農會又ハ諸種組合等ノ直營セル採種田又ハ模範田ノ原種トシテ配布シ其ノ剩餘ヲ以テ一般當業者ノ希望ニヨリ無償配布ヲナセリ

五、種子ノ配布

試験ノ成績ニヨリ優良ナル品種ノ普及ヲ圖ランガ爲メ希望ニ應ジ特ニ精選シタル種子ヲ當業者又ハ農會其他公私團體ニ無代配布セリ其ノ數量左ノ如シ

大 麥

參斗九升八合

小	麥	四斗一升三合
裸	麥	三斗八升六合
計		壹石壹斗九升七合
此配付人員	當業者	百二十四人
	農會其他公私團體	四十
水	稻	拾八石四升五勺
內	譯	
	各郡市農會採種田原種	九斗二升六合
	特別指定配付	五石六斗(四十八團體)
	特別請求	七石九斗三升二合(各郡市農會)
	一般請求配付	三石五斗八升二合 <small>(個人六百五十九人 團體九十九人)</small>
陸	稻	二斗八升八合 <small>(個人八十七人 團體十五人)</small>

六、農具ニ關スル試驗

農具ニ關スル試驗ハ農商務省ノ指定ニ依リ行フ所ニシテ比較的優良ト認メタル物

磨臼二十五種、粉磨機十三種、大豆粕削十四種、麥摺機九種、除草器二十五種、稻扱十八種、唐箕六種、萬石筥六種ニ就キ優劣ヲ比較調査シ尙粉磨機、大豆粕削機ニ就テハ二三考案製作中ナリ

農藝化學部

一、試験事項

農商務省ノ指定ニ係ル肥料、土壤ニ關スル試験ニシテ圃場及「ボツ」試験ノ二種ニツキ施行セリ

水稻之部

- 一、紫萨英ニ對スル石灰加用試験 紫萨英ヲ施用スルニ當リ其ノ効驗ヲ促進センガ爲メ石灰ヲ加用シテ其ノ適量ヲ知り之レガ連用ハ土壤ノ性質及作物ノ品質ニ如何ナル影響ヲ及ボスモノナリヤヲ究メントス本年ノ成績ニヨレバ石灰三十貫匁ノ加用區最モ優良ニシテ全六十貫匁加用區之レニ次グリ尙繼續研究シテ土壤ノ性質ノ影響ヲモ究メントス
- 二、大豆粕ニ對スル石灰加用試験 紫萨英ニ對スルト同様ニシテ大豆粕ヲ主肥トシテ用フル場合ニツキ調査スルモノナリ、本年度ノ成績ニヨレバ收量ニアリテハ六十貫匁加用區最モ良好ナリキ
- 三、石灰窒素効驗試験

- 甲、無機肥料施用ノ場合ニ於テ石灰窒素ヲ硫酸アンモニアニ比較スルモノニシテ硫酸加里又ハ硫酸ヲ施用シテ其ノ効驗ヲ究メントス、石灰窒素ハ何レノ場合モ優リ硫酸ト共用セルモノハ硫酸加里ト共用セルモノニ比シ増收率大ナリ
- 乙、本試験ハ甲ト同一ナレバ豫メ土壤ノ酸性反應ヲ中和シテ硫酸アンモニアニ比較セントス、硫酸施用區ハ硫酸加里施用區ヨリモ概シテ優良ニシテ且ツ石灰窒素區ハ二區共ニ硫酸アンモニア區ヨリモ玄米ノ收量多カリキ
- 丙、本試験ハ甲及乙ト同様ナレバ有機質ヲ多量ニ含有スル物質ト共ニ施用シタル場合ナリ、共通肥料トシテ、米糠、麥稈ヲ用イタリ本年度ノ成績ニヨレバ石灰窒素區ハ硫酸アンモニア區ニ比シ稍ヤ優良ナル如シ
- 丁、本試験ハ丙ト同様ナルモ石灰ヲ多量ニ加ヘタル場合ナリ、共通肥料トシテ米糠、麥稈及石灰反當百貫匁ヲ加ヘタリ、本年度ノ成績ニヨレバ大ナル差異ナキノミナラズ標準區ニ比シ増量少ナシ之レ肥料成分ノ過多ニ因スルナラン
- 四、三要素適量試験 本試験ハ本場土壤ニ對スル三要素ノ適量ヲ知り併セテ「ボツ」試験ノ三要素適量試験トノ關係ヲ見出サントスルモノニシテ窒素試験八區、燐酸試験六區、加里試験七區ヲ設ケタリ、窒素ノ適量ハ二貫五百匁カ三貫匁ナラ

ンモ磷酸及加里ノ適量ハ不明ナリ尙繼續施行ス
本年度ノ圃場試験ハ耕地ノ區劃整理後第一年ニシテ土地ノ均一ヲ欠キ作業上障害
多ク成績ニ影響ヲ及シタルコト尠カラズ

五、窒素ノ肥効價査定試験(木框) 主ナル窒素肥料ノ肥効價ヲ査定セントスルモノ
ニシテ大豆粕、味噌粕、鶏糞、鯨搾粕、菜種油粕、硫酸アンモニアニ就キテ行フ、本年度
ノ成績ニヨレバ大豆粕最モ有効ニシテ鯨粕之レニ次ギ菜種油粕更ニ之レニ次
グ而シテ硫酸アンモニアハ甚ダ劣等ナル結果ヲ得タリ尙繼續施行セザレバ判
明セズ

六、磷酸ノ肥効價査定試験(木框) 其ノ目的ハ窒素ト同様ニシテ磷磺粉、骨粉、タンケ
ー、米糠、過磷酸石灰ニツキテ行ヘリ、本年度ノ成績ハ甚ダ不合理ナル結果ヲ得
タレバ更ニ繼續施行セントス

七、窒素適量試験(鉢) 本試験ハ圃場ノ三要素試験ト相關連シテ行フモノニシテ鉢
試験ト圃場試験ノ窒素適量ニハ如何ナル關係アリヤ究メントスルモノニシテ
反當六貫匁又ハ七貫匁最モ優レル如シ

八、磷酸適量試験(鉢) 其ノ目的窒素ノ場合ト全シク適量尙斷定シ難シ

九、加里適量試験(鉢) 其ノ目的、窒素、磷酸ト同ジ適量尙斷定シ難シ
一〇、酸性土壤ニ對スル加里肥料試験(鉢) 硫酸加里、塩化加里、炭酸加里、葉灰ガ稻作
ニ如何ナル影響ヲ及スカヲ知ラントスルモノニシテ中和土壤ニ對シ同種肥料
ヲ用ヒ其ノ關係ヲ究メントス、知多郡土壤ニツキ本年度行ヘル結果ニヨレバ硫
酸加里ハ稍ヤ劣ルモ効驗少ナカラズ且ツ本土壤ハ石灰ニ著シク欠クルヲ知レ
リ

一一、縣下重要土壤三要素試験
甲、木曾川沖積土 海部郡三和村ノ第四紀新層壤土ニシテ本試験ノ成績ニヨレ
バ窒素ニ著シク欠ケ、磷酸、加里ニモ稍ヤ欠クルヲ知レリ
乙、矢作川沖積土 碧海郡六ツ美村ノ第四紀新層壤土ニシテ本年ノ成績ニヨレ
バ窒素ニ著シク欠クルモ磷酸、加里ハ相當含有サル如シ

二、依 賴 分 析

主トシテ肥料ノ分析依賴ニシテ窒素、磷酸ノ二成分ナリトス其ノ物件名及件數ヲ舉
グレバ次ノ如シ

依頼物件名	件数
魚肥類	三〇
肉骨粉類	一〇
大豆粕	三〇
綿實油粕	一九
菜種油粕	一五
雜油粕類	九
過磷酸石灰	一〇
硫酸アンモニア	七
配合肥料	五五
フォルマリン	一
雜	四〇
計	二二六
内手数料免除ニ係ルモノ三十三件	
三、野鼠チブス菌配布	

本年度ハ請求甚ダ少ナク僅カニ左ノ數ヶ所トス

郡町村名	驅除實施反別
丹羽郡西成村	五〇〇
西春日井郡新川町	二五
海部郡永知村	一〇〇
中島郡明治村	五
北投樂郡段嶺村	五

四、調査事項

一、酸性土壤調査 東加茂渥美ノ兩郡及知多郡ノ一部ノ土壤ヲ採集セシニ止マレ

園藝部

果樹 附庭園花卉

本場果樹園創設以來既ニ十二星霜ヲ經過シ今ヤ各種ヲ通シテ結果盛期ニ達スルモノ少ナシトセス從テ試驗成績ノ見ルベキモノ多ク其ノ結果ハ一般當業者ノ應用スルニ至リ逐年良好ノ結果ヲ奏シツ、アリ本年度ニ於ケル事業ノ梗概左ノ如シ

一、試驗事業

成績ノ完了セルモノハ多ク之ヲ省キタルモ他ノ作物ト異ナリ短時日ヲ以テ完全ノ成績ヲ擧ゲ得ル能ハザレバ新ニ數種ノ試驗ヲ加ヘタル外多ク前年度ヲ繼續シタルモノニシテ其成績ノ概要次ノ如シ

一、桃ノ種類試驗 果樹園創設以來供試ノ品種ハ數十種ニ涉リシモ本年度ハ三十品種ナリ逐年新品種ヲ栽植スルヲ以テ未ダ結果期ニ達セザルモノ亦少ナシトセズ今是等品種中樹勢ノ強弱、收量ノ多寡、品質、販路等ヨリ考查シ營利的栽培ニ適當ノ品種ヲ示セバ左ノ如シ

早生種 「アムスデンジュン」ハ早生種トシテ最モ利益大ナリシモ數年以來硬化病ノ被害甚シカリシモ本年ハ梅雨期ヨリ夏季ニ亘リ降雨少ナク從テ該病ノ被害ハ少ナカリキ爲メ相當ノ利益ヲ擧ゲ得タルモ未ダ該病ハ完全ニ豫防シ能ハザレバ該種ノ栽培ハ到底望ナシ「グイクトル」種ハ前種ニ比シ熟期稍早ク六月上旬ニ成熟シ樹勢強健豊産品質佳良ナレドモ果形ノ小ニシテ最大一個十八匁位ナレバ少シク餘分ニ結實セシムルトキハ果形一層小ニシテ一個四五匁ノ價ニ過キス從テ該種ノ栽培ハ餘リ多クノ望ヲ有スル能ハズ天津水蜜桃ハ品質ニ於テ不良ナル欠点アルモ樹勢強健豊産ニシテ且貯藏ニ耐ユルノ特点アレバ交通機關ノ不備ナル避地ニアリテモ栽培シテ有利ナルモノナリ、珠將軍ハ品質餘リ良好ナラザルモ至テ豊産ニシテ果形最大一個廿四匁内外ナレバ收利亦少ナカラズ又黃肉種ナレバ罐詰用ニモ適ス「アドミラルデュウエイ」ハ珠將軍ノ如ク黃肉種ニシテ罐詰用ニ適シ果形稍々大整一ニシテ天津水蜜桃ノ次ニ成熟スルヲ以テ收利多シ其他早生種トシテ一、二ノ有望種アルモ結果年限短カケレバ未ダ充分ノ成績ヲ見出ス能ハズ

中生種 早生水蜜桃、土用水蜜桃、離核水蜜桃ノ三種ハ何レモ七月中下旬ニ成熟

シ樹勢品質略ボ彷彿シ豊産優良ニシテ收利多キ營利的品種トス「カルマン種亦全時期ニ成熟シ樹勢強健豊産果大ニ果形整一シ深紅美艶ニシテ逐年倍々優良ノ成績ヲ擧ゲ「エルバルタ」コンネツツサウザリンアトリ」ノ兩種ハ豊産ナレドモ品質佳良ナラザレバ餘リ有望ト云フヲ得ズ、其他新ニ植付タル品種中優良ト認ムベキモノナキニシモ非ラザルモ樹令若キヲ以テ茲一兩年ノ成績ヲ見タル上ニアラザレバ確然セズ

晩生種 晩生種ハ其品種至テ少ナク從テ優良品ニ乏シ成績ノ最モ佳良ナルハ上海水蜜桃ノ一品種アルノミ然レドモ該種ハ梅子大ノ碩落果多ク殊ニ本年ハ一層甚シク袋掛ノ半數以上ノ落果アリ又黃肉種トシテ金桃ハ豊産品質佳良ナリ「フアマミ」リ「フエボリツト」ハ樹性健全果大ニ稍豊産晩生種トシテハ相當ニ望アリ然レドモ此等ノ品種ハ成熟ノ時期甚タ遅ク既ニ梨果ノ出荷多キ爲メ需要減退スルヲ以テ營利的栽培トシテハ望少ナカルベシ

二、梨ノ種類試験 試験ニ供シタル品種ハ合計七十二種ニシテ内西洋種四十一、日本種三十一品種ニシテ本邦現在ノ和洋兩種ノ總テヲ網羅スルモ逐年植付タル品種多ケレバ未タ結實期ニ達セザルモノアルト洋種ノ和種ニ比シ結實期ニ達

スル年限永ク殊ニ試験地ノ土質豊沃ナルガタメ一層結實期ノ後ル、傾向アレハ成績ノ充分判然セザルモノ他ノ種類ニ比シ一層多ク本年度ニ於ケル成績ニ鑑ミ從來ノ成績ヲ綜合シ産額品質等ヨリ打算シテ最モ有望ナル品種ハ左ノ如シ

日本梨

- 真 銚(早生) 赤 種(早生) 長十郎(中生)
- 廿世紀(中生) 今村夏(中生) 杉 本(中生)
- 國 富(中生) 幸 藏(中生) 早生赤(晩生)
- 重次郎(晩生) 晚三吉(晩生) 白 梨(晩生)

西洋種

- ヂュセスダングレーム キーフハイ パートレット
- ドクトルジュエルギユイヨイ ローレンス ビーバリー
- バツスクラツサン ガバースハイブリット ボーレイヂツフハイ

右ノ外日本種ニアリテ太白、世界一ノ兩種ハ豊産品質佳良ナルモ結實期間短ク成績充分判然セス明月種ハ品質ノ優良ナル点ニ於テ二十世紀ノ次位ナレト

モ結實ノ少ナカリシハ本種ノ殊ニ欠点トスル處ナリシガ前年度ヨリ稍多ク結實シ本年度ニアリテハ一層多クノ結實ヲ見ルニ至レリ之レ斷根及剝皮ヲ行ヒタルト剪定ヲ過度ニ行ハザリシトニ基因スルモノナリ元來明月種ハ發育甚タ旺盛ニシテ殊ニ本場ノ如キ豊沃ナル土質ニアリテハ一層其度ヲ増シ花芽ノ着生セザルモノナレバ其勢力ノ抑制スルノ手段即チ斷根剝皮及余リ過度ノ剪定ヲナサル様ニスレバ相當ノ結實ヲナスモノナリ且又秋期早生種トシテ有名ナル市原早生ヲ高知縣ヨリ取寄セ栽植セリ

洋梨ハ日本梨ニ比シテ概シテ發育旺盛ニ從テ結實期ニ達スルコト遅ク從來各種ヲ通シテ結實不良ナリシガ本年度前記各種ノ如キハ非常ノ豊産ニシテ且優品ヲ産スルニ至レリ殊ニ「ボイレーデフハイ」カバースハイブリット」ノ如キハ最も早生種ニシテ七月上旬ニ熟シ未ダ梨果ノ市場ニ出荷セザルヲ以テ高價ニ販賣スルヲ得タリ然レトモ縣下ニ於ケル洋梨ノ需要ハ至テ少ナク枇杷島市場ノ如キハ市價甚タ低廉ニシテ目下ノ處縣下ヲ對手トシテ洋梨ノ栽培ハ到底望ナシサレバ本場ニ於テハ前年度ニ鑑ミ「ルコンテ」及「キーフハイ」ノ兩種ヲ浦鹽輸出トシテ敦賀港ノ市場へ販賣シタルニ意外ノ好成绩ヲ舉ケタリ今後此ノ種ノ調

査攻究モ行ハントス

三、

葡萄ノ種類試驗 本縣ニ於ケル葡萄ノ栽培ハ其面積至テ少ナク栽培ノ品種ハ殆ンド全部劣悪ナル「カトーバ」種ニシテ年々市價ノ低落シ今ヤ充分ノ收利ヲ舉グルコト能ハザレバ良種ノ撰擇ハ殊ニ必要トスル處ナリサレバ本場ニ於テハ出來ル丈各種ヲ蒐集シ以テ優品ノ撰出ニ勗メタリ供試ノ品種ハ七十有餘種ナリシモ本年度ハ三十五品種ヲ撰拔セリ其成績ハ多ク前年度ニ彷彿シタルモ梅雨季ニ於ケル雨量ノ少ナキト病害ノ豫防完全ナリシトノ爲メ一層優良ノ成績ヲ舉ゲ殊ニ歐羅巴種ノ如キ從來成績ノ不良ナルモノニ至ルマデ相當ノ結果ヲ見ルコトヲ得タリ今左ニ從來ノ成績ニ鑑ミ本年度ノ成績ヲ綜合シ露地栽培トシテ最モ適スル優良ノ品種ヲ列記スベシ

早生種

ゼツシカ(白) キヤムベルスアーリー(黒)

中生種

コールレン(白) ナイヤガラ(白) プライイトン(赤)
レデューワシントン(白) ハイバート(黒)

晩生種

ハイランド(黒)

「ゼツシカ」ハ樹性甚ダ強健品質佳良ナリシモ房及果粒ノ小ナルガ爲メニ收量餘リ多カラザルノ結果收利少ナキノ弊アリ其他ノ品種ハ品質佳良豊産ニシテ營利的栽培ニ適ス然レトモ「ハイランド」種ハ熟期甚タ遅ク燐酸及加里分ノ不足スルトキハ不熟果ヲ生スルト病虫風害ノ甚シキト梨及柿ノ出荷多キトヲ以テ葡萄ノ需要急ニ減退スレバ多數ノ栽培ハ餘リ望ミナカルベク且又歐羅巴種トシテ結實佳良ナリシハ「ブラツクハンボルグ」「スキートオーター」「マスカットハンボルグ」「ユング」等ナレトモ未タ露地栽培トシテ望ヲ屬スル能ハス
縣下ノ葡萄栽培者ハ本場ノ成績ニ鑑ミ品種ノ改良ニ着々從事スルニ至リ且又出來得ル丈苗木ヲ養成シ配布シツ、アレバ逐年良品ノ生産ヲ見ルニ至ルベシ
柿ノ種類試験 供試ノ種類ハ過半植後日尙ホ淺キヲ以テ結實期ニ達スルモノ少ナシ殊ニ春期ニ於テ圃地ノ都合ニヨリ全部植換ヲ行ヒタルガ上ニ夏季旱天連續セルガ爲メニ結實シタルモノモ果甚ダ小ニ充分ノ成績ヲ見ル能ハザリシハ殊ニ遺憾トスル處ナリ供試ノ品種ハ其數二十六ナリシモ結實期ニ達セザル

モノ多ク結實セルモノハ僅カ十五品種ニ過キズ其最モ成績ノ優良ト認ムベキハ甘柿トシテハ天神御所富有代々丸次郎ノ數種ニシテ殊ニ富有ハ至テ豊産ニシテ若木ニアリテモ全部脱澁シ品質亦優良ナレバ營利的品種トシテ之レニ匹敵スルモノナシ澁柿ニアリテハ衣紋種甚ダ豊産ナリシモ夏季落下甚シク之レ本場土質ノ然ラシムル處ニシテ八名北設樂地方ニアリテハ結實至テ良好ナレバ此等ノ地方ニアリテハ有望品種ナルベシ其他ノ種類ハ結實ノ年限淺ク未ダ充分ノ成績ヲ舉グルコト能ハズ
柿ハ本縣至ル處栽培ニ適シ其産額亦少ナカラザレトモ品種ノ劣惡ナレバ之レガ改良ハ目下ノ急務ニシテ本場ニアリテハ獎勵スヘキ標準種類甘柿ニアリテハ富有次郎代々丸澁柿ニアリテハ衣紋蜂屋ヲ定メ正確ナル母樹ヲ取寄セ栽植ヲ行ヒタリ今後之レガ接種ヲ以テ確實ナル良苗ヲ多數養成シ希望者ニ出來得ル限リ多クヲ配布シ以テ品種ノ改善ニ勗メントス
五、 枇杷ノ種類試験 供試ノ品種ハ合計六種ニシテ結實種類中豊産品質佳良ナルハ茂木ヲ第一トシ田中枇杷之レニ次キ前者ハ果粒田中枇杷ニ比シ少シク小ナルモ粒付多ク色澤美麗ニシテ甘味多ク品質最モ優良ニシテ豊産市價亦低廉ナ

ラズ後者ハ果形大ナルモ粒付粗ニシテ完熟セザレバ酸味稍多キハ本種ノ欠点ナリ右二品種ハ營利的ノ栽培ニ最モ適當スルモノナリ、田村、石黒、早生ノ各種ハ秋期多少ノ花蕾ヲ發生セルヲ以テ翌年度ハ此等新品種ノ成績ヲ知ルコトヲ得ヘシ

六、

櫻桃ノ種類試験 供試ノ品種ハ其數五種ニシテ結實セル品種ハ「ビカル」イナボレオン「ビカル」イモイモンオリワノ二種ニシテ兩者共五月下旬ヨリ六月上旬ニ採收シ一本ノ結實個數前者ハ二十二粒後者ハ七十六粒ノ少數ニシテ最大一粒一匁六分ヨリ二匁色澤紅色品質優良ナルモ結實少ナキヲ以テ到底營利的栽培ニ適セス又從來結實シタル「サンメダール」ハ夏季ニ於テ全部枯死セリ且又圃地ノ都合上前記ノ兩種ヲ十一月貳號圃甲區ニ移植セリ產品ハ枇杷島市場へ販賣シタルニ一粒三、四厘ニ賣却スルコトヲ得タリ

六、

無花果ノ種類試験 供試ハ七品種ニシテ全部多少ノ結實ヲナシ「ホワイトゼノア」カリフォルニア「ニヤブラツク」ブラウンターキー「ハ」最モ豊産ニシテ收利多ク「ブラウンターキー」ハ夏無花果ノ結實甚タ多キモ炭疽病ノ爲メ殆ト全部落下セリ「グリンイツシ」ハ最モ早生種トシテ風味至テ高尙珍味ナルモ果小ニシテ豊産ナラ

ズ

縣下ニ於ケル無花果ハ全部在來種ナリシガ近來洋種ノ栽培ヲナスニ至レリ概シテ洋種ハ早熟ニシテ在來種ハ晩熟ナレバ兩者相俟ツテ利益多ク殊ニ最近該果ノ需要ハ著シク増加シ一層多クノ利益ヲ占有スルニ至レリ

八、

整枝試験 本年度ノ成績ハ前年度ニ於ケルト大差ナク梨ニアリテハ棚作水平上、叢生「ピラミット」カシデラブルノ各種ニシテ和洋兩種共各整枝ニ涉リ良結果ヲ奏シタルモ方法ノ異ナルニ從ヒ一利一害アルモノナリ明月「バートレット」キ「フハー」ノ如ク發育旺盛ナルモノハ水平上、カシデラブルノ如キ整枝法ヨリモ却テ棚作叢生仕立ノ方結果佳良ニシテ且又水平上ニアリテハ勞力ヲ省畧スル点ニ於テハ適法ナルモ樹令ノ加フルニ連レ上段ノ發育倍々盛ニシテ良品ヲ産スルモ之レニ反シテ下段ハ衰弱シ果小ニシテ品質不良ナリ之レヲ以テ產品ノ不同ヲ免カレズ然ルニ棚作ハ結實豊産果形均一ニシテ品質亦優良ナリ其他ノ整枝法ハ他法ノ如ク材料ヲ要セザルノ特点アルモ結實少ナク暴風ノ被害多ケレバ結局棚作ヲ以テ最モ營利的至適ノ方法トス

葡萄ノ整枝ハ棚作及二段作ノ二種トス兩者共結實佳良ナルモ棚作ノ方收量多

シ且又甲州葡萄ノ如ク發育ノ旺盛ナルモノハ二段作トシテハ結果少ナキヲ以テ須カラク棚作ノ方法ヲ採用セザルベカラズ
 桃ニアリテハ整枝ノ種別盃狀形、鳳尾狀、カンデラブルノ三種ニシテ各種共相當ノ成績ヲ擧ゲタルモ、カンデラブル及ビ鳳尾狀形ハ水蜜桃類ヲ除クノ外ハ結果枝ノ枯損多ク成績良好ナラズサレバ營利的方法トシテハ盃狀形ヲ以テ最良トス

近來竹材ノ價格騰貴シタルヲ以テ棚作整枝ハ多額ノ材料ヲ要スルノ嫌アル以テ秋期ニ於テ葡萄及梨ノ兩種ニ付キ鉄線及鐵線竹ノ混合兩法ノ優劣ヲ比較セントス

九、

肥料試驗 桃梨及葡萄ニ就キ前年度ヲ繼續シ施行シタルモノニシテ桃及梨ニ對シテハ肥料ノ種類及用量試驗ヲ施行シタルモ未ダ試驗成績判然セズ葡萄ニアリテハ磷酸及加里ノ効驗試驗ヲ行ヒ其成績顯著ニシテ加里分ノ多キハ收量及品質ヲ佳良ナラシムルモノ一本木灰一升五合區(八年生)ニ至リテハ不熟果多ク粒不揃ノ傾キアリ一升區最モ熟期早ク風味良好ナリサレバ八合ヨリ一升位ヲ最モ適當トスルモノ、如シ磷酸施用區ハ加里施用區ニ比シ熟期早ク品質良好

ナル如ク、且磷酸分ノ施用量ハ甘味ノ多少及熟期ニ關係アルヲ以テ葡萄ノ肥料トシテハ磷酸分ノ多用ヲ殊ニ必要トス

一〇、

剥皮試驗 樹勢ノ盛ニシテ花芽ノ着生セザルモノニ剥皮ヲ行フトキハ樹勢ヲ減退セシメ營養物質ヲ蓄積シ花芽ノ成生充實ヲ來スモノナリ然レドモ剥皮ノ時期對廣狹ハ又甚大ノ關係アルモノナレバ葡萄ニ就キ「ハイランド」種ヲ供試樹トシ六月十四日及七月十日ノ二回ニ巾二分ノ厚サニ剥皮シタルニ前者ハ殆ンド全部適合シ剥皮ノ目的ヲ達ス能ハサリシガ後者ハ上下ノ組織適合セズ果實ノ發育盛ニシテ熟期ハ無剥皮區ニ比シ十日乃至十五日ヲ早メタリ之レニ依テ見レバ六月中下旬ノ頃ハ樹勢甚ダ旺盛ニシテ剥皮ヲ行フモ直チニ上下ノ組織ノ適合スルヲ以テ却テ七月上旬ノ樹勢稍衰へ成熟ニ傾キタルトキニ行フヲ可トス、梨ニアリテハ樹勢ノ強弱ニ依リ多少ノ相違アルモ巾二三分トシ六月下旬ヨリ七月上旬ニ施行シタルモノ最モ良好ナリキ又明治四十四年度ニ施行シタル「キープハイ」種ノ成績ハ無剥皮區ニ比シ特ニ優良ノ結果ヲ奏シタルヨリ見レバ剥皮ノ効果ハ數年間ヲ持續スルモノナリ

一一、袋掛時期對果實ノ發育關係試驗 供試種類ハ早生水蜜桃ヲ使用シ五月七日、

十七日、二十九日ノ三回ニ袋ヲ掛ケ七月二十六日ニ於テ各區共採收シタルニ五月七日區ハ四割三分、十七日區ハ二割五分、二十九日區ハ一割七分ノ落果ヲ生ズ之レニ據テ見ルモ袋掛ノ早キ程落果部合多キモノナレバ害虫ノ被害少ナキ場合ハナルベク遅キヲ可トス果實ノ發育ニ關シテハ袋掛ノ早晚ハ左程ノ關係ヲ有セス只袋質ノ如何ハ至大ノ關係ヲ有スルモノニシテ硫酸紙ノ如キ日光ノ透射充分ナルモノハ發育殊ニ良好ナリ

一二、袋ノ色澤對果實ノ發育關係試驗 袋ノ色澤ハ黃、青、赤、黒ノ各種ト外ニ硫酸紙、新聞紙、澁引紙ヲ使用シ供試ノ種類ハ桃、カルマンニシテ五月二十日ニ於テ各區共袋ヲ覆ヒ七月二十二日ニ採收シタルニ發育ノ良好ナルハ硫酸紙、黃、赤ノ三區ニシテ澁引紙之レニ次キ其他ハ何レモ不良ナリ且又成熟ノ最モ早キハ硫酸紙ニシテ赤、黃、青、澁引紙順次之レニ次キ新聞紙及黒色最モ發育不良ナリ、サレバ袋ノ色澤ハ白及黃ヲ以テ成績良好ニ殊ニ硫酸紙ハ紙價低廉ニシテ成績可良ナラバ最モ使用ニ達ス

一三、苗木ノ磷酸及加里効驗試驗 供試ノ種類ハ桃、離核水密、梨、早生赤ノ兩種ニシテ梨ニアリテハ磷酸ノ多少ハ左程ノ關係ヲ有セサルガ如キモ加里分ノ量多キ

ニ從ヒ苗木短カクシテ緊リ細根多ク發生ス其適量ハ十本ニ對シ木灰一升乃至二升ヲ可トス桃ニアリテハ加里分ノ多用ハ普通肥料區ニ比シ著シキ相違アルヲ認メズ却テ磷酸分ノ量多キニ從ヒ苗木短少ニシテ又緊根部ノ發育可良ナリ以上ノ成績ニヨツテ見レバ梨ハ加里分ノ多キヲ必要トシ桃ハ磷酸分ヲ多用スルコト肝要トス

一四、石灰硫黃合劑ノ各果樹ニ對スル被害有無試驗 供試ハ各果樹ヲ用ヒ發芽四五葉ニ達シタル四月二十五日午後三、四時ニ於テ噴霧器ヲ以テ撒布シ全劑ハ原液及五倍、十倍、十五倍ノ四區ニ別チ撒布後一日置ニ三回被害ノ有無ヲ調査シタルニ原液ハ各種ヲ通シテ被害アリ五倍液ハ桃及枇杷ノ外ハ全部被害ヲ認メ十倍液ニ至リテハ桃、梨、葡萄、無花果、枇杷ノ各種ハ被害ナカリシモ其他ハ多少ノ被害ヲ認メタリ十五倍液ハ柿、米桃、櫻桃、栗ノ四種ハ多少ノ被害ヲ認メタルモ其他ノ種類ニ至リテハ絶對ニ被害ヲ認メズ

一五、葡萄ノ炭疽病豫防試驗 供試ノ品種ハカトーバ種ニシテ藥劑ハ三斗式、ボルドー液ヲ使用シ試驗ノ結果ハ四回撒布區四月二十五日、五月六日、五月十二日、五月三十一日ハ一粒ノ被害ナク、二、三回區ニアリテハ各房多少ノ被害粒アリ、標準

區ニ至リテハ被害ノ激甚ヲ極メタリ

一六、溫洲密柑苗木瘡痂病豫防試驗 從來苗木瘡痂病豫防トシテ三斗式「ボルドー」液ヲ使用シタルニ嫩葉ノ被害甚シク豫防ノ効果ヲ奏セザルヲ以テ本年度ニ於テハ四斗式ヲ使用シタルニ五月五日嫩葉ノ三、四枚發生セルトキニ撒布シタルモノハ多少ノ被害ヲ認メタルモ五月五日及五月十五日ノ貳回ニ撒布セルモノハ少シノ被害ヲ認メズ發育至テ良好ナリ、標準區ハ被害激甚發育甚ダ不良ナリ

一七、「いらむし」驅除試驗 近來各種果樹ニ對シ「いらむし」ノ發生甚シク殊ニ柿ニアリテハ一層激甚ヲ極メ夏季一枚ノ青葉ヲ認メザルニ至リ收穫皆無ノ慘狀ヲ呈スル處尠ナカラズ、今各種藥劑ニ付キ試驗シタル結果湯一升ニ對シ除虫菊粉五分乃至一匁ヲ溶解シタル液ヲ撒布スルトキハ數分間ニシテ全部地上ニ落下シ死滅スルニ至ル本劑ハ一升五厘内外ノ價格ナレバ小費ニシテ完全ニ驅除シ得ルモノトス

二、果樹園ノ整理及手入

前年度大休ノ整理ヲ終リタルモ多少不備ノ点アリシヲ以テ本年度秋期ニ於テ再ビ

成績不良ノ整枝及品種ヲ掘リ捨テ左記ノ如ク整理改善ヲ行ヘリ

掘取區	掘取前ノ整枝	掘取前ノ種類	新植種類	新整枝	備考
梨園南及北側	盃 狀 形	李 五 百 種	李 二 種	盃 狀 形	不長ノ品種ノミ掘取リタリ
果樹園入口	ビ、ラミット	キ、フ、ハ、一、二、本			果樹園ノ入口兩側ニアリシ
葡萄園南垣	斜傾コルドン	日 本 梨	二十世紀	斜傾コルドン	前年度植付タルモ夏季旱天
二號園道路南側	カンデラブル	李 各 種	葡萄二種	二 段 作	ノ爲メ過半枯死シタレバ再
二號園西區柵作南	苗 圃		葡萄日本種	柵 作	前年度三月葡萄ヲ植付本年
					度秋支柱ヲ建テ鉄線ヲ張ル
					秋季支柱ヲ建テ針金を張リ
					柵ヲ作ル

剪定ハ各種ノ接穂用ヲ除キ十二月下旬ニ於テ全部ヲ行ヒ柵作及整枝果樹ハ腐朽シタル柱及竹ヲ取換ヘ主枝ヲ結束シ葡萄ハ發育ヲ可良ナラシムル爲メ外皮ヲ剝脱シ桃及梨ノ古木ハ叮嚀ニ幹部ヲ磨擦古皮ヲ剝除シ以テ潜伏セル害虫ヲ驅除シ然シテ土壤ノ風化作用ヲ促進セシムルト同時ニ害虫驅除ノ目的ヲ以テ園内一面ヲ耕起セリ果樹全部ニ對シテハ病虫害驅除豫防ノ爲メニ石灰硫黃合劑ヲ撒布シ其他除草柵類ノ防寒等叮嚀ニ施行セリ且又蔬菜園排水地ノ上ニ柵作シ空地利用トシテ葡萄

ヲ栽培セリ

三、委託試驗

委託試驗ハ全部前年ヲ繼續本場栽培ニ適セサル柑橘類ト其地方特ニ必要アル果樹ニ對スル各種ノ試驗ヲ行フト同時ニ整枝、剪定、肥培ノ模範ヲ示サントスルモノニシテ試驗別及個所左ノ如シ

柑橘ノ剪定肥培ニ關スル試驗	一ヶ所
柑橘ノ剪定及培養ニ對スル模範栽培	五ヶ所
柑橘苗木病虫驅除ニ關スル試驗	一ヶ所
桃ノ種類及模範栽培	一ヶ所

以上ノ試驗地ハ設置後何レモ數年間ヲ經過シタルバ各所共成績至テ佳良ニシテ試驗地設置ノ趣旨ニ叶ヒ直接間接ニ斯業ノ發展ヲ助長シ非常ノ好成绩ヲ舉クルコトヲ得タリ殊ニ柑橘類ノ如キハ試驗地設置當時ハ剪定ヲ行フモノナカリシガ其成績ノ優良ナルヲ目撃シ今ヤ縣下ノ主産地ニ於テハ多少剪定ヲ行ハサルモノナキノ好況ヲ呈スルニ至レリ又試驗地ノ剪定肥培病虫驅除豫防等ハ綿密ニ施行シ且其都

度勗メテ部内當業者ヲ集メ之レヲ目撃セシメ實地ニ指導シ以テ斯業ノ改良發展ニ一層努力セリ

四、家庭果樹園

本年度ニ於テ新設シタルモノナシ園主ノ多クハ剪定肥培ニ付テハ充分熟達シタルヲ以テ只二、三ノ箇所ニ就キ各期剪定ノ指導ヲ行ヒタルニ過キス
既設果樹園ノ多クハ園主ノ執心之レヲ經營セルノ結果何レモ成績良好ニシテ殊ニ温室葡萄ノ如キハ結實甚ダ豊産ニシテ倍々農業ノ趣味ヲ喚起スルニ至リ家庭園設立ノ趣旨ニ叶ヒ偉大ノ効果ヲ奏セリ其他農村宅地ノ改良風紀ノ改善等直接間接ニ豫想ノ効果ヲ奏スルコトヲ得タリ

五、花卉及温室

各種花卉ノ各種ヲ蒐集シ前年度三月植付タル種類ハ四、五月頃美花爛熳トシテ一般參觀者ニ非常ニ趣味ヲ與ヘタリ秋咲ノ種類ハ晚春花壇ニ植付ケ秋期各種ノ競ツテ開花セルハ亦一層ノ風致ヲ添ヘタリ且又秋蒔種子ハ苗圃ニ下種シ今ヤ整然ト移植ヲナシ發育可良ナリ各種花卉ノ種子ハ出來得ル丈採收シ別項記載ノ如ク各方面ニ

配布セリ
 温室内ニ植付アリタル葡萄ハ本年度ニ於テ新ニ葡萄室ノ設置アルヲ以テ全部ヲ掘取リ鉢植トシ室内ハ花卉室ニ宛テ各種ノ花卉ヲ鉢植トシ羅列シタレハ美花爛熳トシテ衆目ヲ惹クニ至レリ秋蒔草花種類ハ從來栽培セルモノ、外各地ノ種苗店ヨリ購入播種シ其他多少ノ良苗ヲ養成シタレバ出來得ル丈學校園其他ニ配布ノ豫定ナリ

六、間作物

柑橘園及梨園内ニハ苺ヲ栽培シ種類試験ヲ行ヒタルニ最モ早生種トシテハ「セルトゼル」スア「ロリ」中生種トシテハ「ニューヨーク」晚生種トシテハ「カンパ」ランド「最モ成績良好ニシテ其他ハ果形小ニ品質佳良ナラズ、梨柵作ノ下ヲ利用シ除虫菊ヲ植付ケ株花ハ乾燥シテ害虫驅除劑トシテ使用シ柿園内ニハ各種葉蒴ノ蒔付ヲナシタリ久シク此等作物ノ栽培ヲナサザリシ結果播種ノ遅カリシニモ拘ラズ以外ノ良品ヲ産シ且又少シノ空地ニハ果樹ノ苗木ヲ養成シ以テ間作物ノ適種ヲ講究スルト同時ニ土地ノ利用ニ勗メタリ

七、種苗配布

果樹栽培上優良ナル苗木ノ缺乏ハ斯業ノ發展ヲ阻害スルコト甚シク之レカ良苗ノ供給ハ目下ノ急務タレバ本年度ニアリテモ前年度ヲ繼續シ梨、桃及柿ノ接穂ヲ中島郡ノ信用アル栽培者ニ養成方ヲ依囑シ出來得ル丈多數ヲ養成セリ
 花卉類ハ秋蒔及春蒔共各種ヲ多量ニ採收シ學校園其他ノ請求者ニ對シ配布ニ勗メタリ本年度ニ於テ配布シタル種類及數量左ノ如シ

果樹苗木	種類	接木本數	養生本數	配布本數	試験用
梨		二、九七一*	二、一四三*	一、三一六*	八二七*
柿		一、一〇〇	四二五	三五五	七〇
桃		二、六〇八	六、二六〇	一、〇八〇	一八〇
枇杷		五〇〇	三五六	三三五	二一
梅		三〇〇	二四〇	二二三	一七
無花果		不	九六	九六	〇

葡萄	不明	一、六二一	一、六二一	〇
李	不明	七四	四五	二九
梅		三〇〇	二〇〇	一〇〇
合計	七、四七九	六、五一五	五、二六一	一、二四四
草花種子				
種類	袋數	種類	袋數	
四季撫子	三六六	デギタリス	六〇〇	
ロベリア	一〇〇	ウエルフラワー	二五〇	
虞美人草	三六六	貝細工	四〇〇	
リナリヤ	一〇〇	ビスカリヤ	八〇	
パンジ	三六六	金魚草	三六六	
蔓櫻草	三六六	金盞花	一五〇	
水仙翁	二〇〇	リムナンテス	三〇	
エスコルツア	三六六	スネートアライサム	一五〇	
カリフォルニア	三六六	フロックス	一二〇	
デージー	三六六	ドラモンドイ	一二〇	

セネーション	一〇〇	ラダマキ	一二〇
矢車草	一〇〇	シヨルダ	三六六
花荷蒿	九〇	カリフォルニア	二〇〇
アスペルル	三〇	スタテイリス	一五〇
スラスビー	三〇	カンパニユーラ	五〇
スキートビー	一〇	王不留行	五〇
金鶏菊	四五〇	シネラリア	三〇
ベチユニア	九六	カーネーション	五〇
コスモス	九六	タジャク草	一五〇
サルグアイア	九六	天人菊	九六
百日草	九六	鳳仙花	九六
合計	六、八〇〇	カツコアザミ	九六

蔬菜

一、試験事業

- 一、梨瓜々守豫防試験其一 前年度ニ引續キ更ニ石灰窒素、ヘボライト並ニ大正驅蟲劑ヲ加ヘ藥劑的驅除ノ効果ヲ驗セントスルニアリシモ其發育極メテ不良ニシテ本試験ヲ放棄スルニ至リ因テ更ニ來年度ニ於テ本試験ノ正鵠ヲ期セントス
- 二、梨瓜々守豫防試験其二 瓜守ニ對スル藥劑的驅除法ト共ニ機械的豫防法ヲ攻究セントスルモノニテ根元ニ油紙、澁紙、塞冷紗、新聞紙、コイル、タル塗抹紙ヲ敷キ之レニ無豫防區ヲ設ケ施行シタルニ六月拾六日ノ驟雨ニ遭遇シ黃根元ヨリ挫折シ到底試験ニ堪ヘサルニ至リシヲ以テ本試験ヲ中止ス、然レトモ七月一日殘存セルモノ、株元ヲ各區ニ就キ檢セシニ無豫防區ニアリテハ何レモ産卵シアルヲ見タリ依之見レバ多少其効果ヲ認ムルニ難カラズ
- 三、胡瓜病害豫防試験甲 前年度ニ引續キ施行セルモノニシテ其成績良好ナルハ「ボルドー」液ニ回撒布區ニシテ三回區之レニ亞ゲリ
- 四、胡瓜病害豫防試験乙 本試験ハ胡瓜露菌病豫防ニ對スル「ボルドー」液ト他ノ豫防劑トノ効驗ヲ比較セルモノニシテ左ノ五法ニ依ル
- 一、ボルドー液

- 二、硫酸銅アンモニア
 - 三、炭酸銅アンモニア
 - 四、硫化加里
 - 五、硫黃華
- 其結果炭酸銅アンモニア區、三斗式ボルドー液區最モ効果アリキ
- 五、南瓜種類試験 農商務省農事試験場特別配布品種ニ更ニ數種ヲ加ヘ十七種ヲ以テ施行ス其結果收量ニ於テハ須賀縮緬種優良ニシテ御器所之レニ亞キ品質ニ於テハ縮緬、杉江種良好ナリ
 - 六、蕃茄種類試験 前年度試験ノ結果優良ナル八種ヲ以テ繼續施行セルモノニシテ本年度ハ立枯病ノ被害著シク爲メニ收量ノ上ニハ充分ノ成績ヲ得ル能ハザリシモ品質ニアリテハ「ジュンビン」グ「ストーン」最モ佳良ナルヲ認メタリ
 - 七、蕃茄病害豫防試験 本試験ハ立枯病豫防ノ爲メ左ノ五法ニ依リ施行ス
 - 一、ボルマリン
 - 二、石灰窒素
 - 三、石灰

四、硫黃華

五、無豫防

右ノ成績ハ各區共病原因ノ寄生ヲ受クルコト尠ナカリシ爲ニ無豫防區モ完全ナル生育ヲ遂ゲ石灰窒素區、ホルマリン區ハ更ニ健全ナルヲ得タリ尙試驗ヲ繼續シ正確ヲ期スベシ

八、玉蜀黍種類試驗 十七種ヲ以テ施行ス收量ニアリテハ在來、早生、晚生、ロングフ

エロ、カナダエロ、フリント等優良ナリシモ形質優美ニシテ市場ニ於ケル一般需用者ノ嗜好ニ適セルモノハ在來、早生、晚生ノ三種ナリトス

九、南瓜摘芽法試驗 前年度ニ引續キ施行セリ其ノ結果重量ニ於テハ第一區摘芯摘芽セサルモノ最モ多ク個數ニ於テハ第三區摘芯ヲ行ヒ四枝ヲ出サシメ側枝ヲ摘芽シタルモノ並ニ第二區摘芯ヲ行ヒ四枝ヲ出サシメ摘芽ヲ行ハサルモノ最モ多キヲ認メタリ

一〇、茄子種類試驗 前年度ニ引續キ施行セルモノニシテ其結果收量ニアリテハ東京晚生、山茄子、芹川小茄子等最モ多キモ其形質劣悪ナリ橘田、中生長寺野種ハ收量ハ前者ニ及ハサルモ形質優美ニシテ市場ノ需用多ク收益多カリキ

一一、菜豆種類試驗 前年度ニ引續キ施行セルモノニテ矮性種ニアリテハ黒種、赤種、蔓性種ニアリテハ「サウサルン」プロリスフツク、「白八房殊」ニ收穫多ク品質ニ於テハ各種共大差ナキヲ認メタリ

一二、十月時甘藍種類試驗 供試品種二十種ヲ以テ施行セリ其成績ハ早生種ニアリテハ「ヘンダー」ソンスチャイレストンウキークフキルド「アイリーゼル」シウキークウキルド「アイリース」ブリング「中生種」ニアリテハ「サクセツシヨ」ン「アイリオサ」等收量多カリキ

一三、蠶豆種類試驗 前年度ニ引續キ施行セルモノニシテ其成績ハ初期ニ於ケル發育不整ニシテ各區共著シク欠損株數ヲ生シ充分ナル結果ヲ得サリシモ京都於多福、エキスピスシヨ、ロングボット比較的大粒ニシテ收量多ク優良品種ナルヲ認メタリ

一四、豌豆種類試驗 前年度ヨリ繼續施行セルモノニシテ莢用トシテハ早生莢、在來早生、米國矮生最モ優良ニシテ子實用トシテハ「アラスカ」、「ラジユエトール」百花實良好ナリ

一五、豌豆連作藎灰効驗試驗 本年度ヨリ繼續施行セントスルモノニシテ未ダ其

効驗ヲ確實ニ知ルコト難キト雖モ百貫匁加用區生育最モ良好ニシテ五十貫匁加用區之レニ亞キ二十五貫匁加用區最モ不良ニシテ收量モ亦如上ノ順位ヲ示セリ

一六、葱頭種類試驗 前年度ヨリ引續キ施行セルモノニシテ「エーロースキン」エーロイダンバース及佛國第十三號最モ優良ナルヲ認メタリ

一七、牛蒡連作適否試驗 未ダ試驗ハ完了セズ

一八、牛蒡施肥期試驗 施肥ノ時期ガ抽穂ニ及ボス關係ヲ確カメン爲メニ施行セルモノニシテ各區共抽穂數殆ンド同一ニシテ施肥ノ時期ハ抽穂ニ關係ナキノ成績ヲ得タリ尙試驗ヲ繼續セントス

一九、葱種類試驗 大正元年十月一日下種同二年八月一日定植五種ヲ以テ施行セリ其成績ニ依レハ收量ニ於テハ坊主不知、飛彈最モ多ク之レニ亞クハ九條ニシテ越津最モ少シ品質ハ越津最モ良好ニシテ九條、飛彈、千住、坊主不知ト順次劣レルヲ示セリ

二〇、葱畦幅株間廣狹試驗 左ノ十二法ヲ以テ施行セリ

- 一、畦幅三 尺 株間一寸
- 二、畦幅三 尺 株間二寸

三、同 三寸 八、畦幅二尺五寸 株間四寸

四、同 四寸 九、畦幅二 尺 株間一寸

五、畦幅二尺五寸 株間一寸 一〇、同 二寸

六、同 二寸 一一、同 三寸

七、畦幅同 株間三寸 一二、同 四寸

以上ノ成績ハ收量ノ最モ多キハ第十區ニシテ第六區、第九區之レニ亞ギ第八區最モ少ナシ因ツテ畦幅二尺株間二寸ヲ以テ妥當ナルモノト云フヲ得ヘシ

二一、宮重大根比較試驗 輒近本種中尻太ノ栽培盛ナルニ至レルヲ以テ之レガ良否ヲ考試セントスルモノニシテ其成績ニヨレバ收量ニテハ尻太種、品質ニテハ尻細種優良ナリ

二二、宮重大根切干製造比較試驗 本試驗ハ宮重大根中尻太、尻細ノ切干製造上ノ比較ニシテ兩者共同大同量ノ材料ヲ以テス其成績ニ依レハ尻太種乾燥歩合及色澤良好ナレモ其品質ハ稍劣レルヲ見タリ

二三、方領大根比較試驗 前年度ヨリ引續キ施行セルモ本年度ハ生育ノ中期ニ降雨多カリシ爲メ早生種ハ著シク濕害ニ罹リ收量品質共ニ晩生種ニ劣レルノ成

續ヲ表ハセリ

二四、練馬大根品種比較試験 五種ヲ以テ施行ス其成績ニ依レバ收量ニアリテハ中長秋ヅマリ、九日練馬多ク尻丸尻長ニ少シ品質ニアリテハ中長最モ良好ニシテ九日練馬最モ劣等ナリ

二五、方領大根改良試験 前年度ニ引續キ施行セルモノニシテ本年ハ其形質稍埋想ニ近キモノヲ得タルモ未ダ完全ナル域ニ達セサルヲ以テ尙繼續施行セントス

二六、蕪菁品種試験 四種ヲ以テ施行ス其結果聖護院收量最モ多ク大治之レニアダ品質ハ聖護院最モ良好天王寺、大治、近江ト順次劣レルヲ見タリ

二七、山東白菜三要素適量試験 前年度ニ引續キ施行スルモノニシテ更ニ窒素區ニ於テ二區ヲ増シ二十區ヲ以テ施行ス其成績ハ窒素一貫匁區磷酸、加里ハ共ニ三貫匁區良好ニシテ特ニ加里區ハ優レルヲ示セリ而シテ前年度ノ窒素七貫匁區優良ナルニ比シ著シキ差ヲ呈セルハ其生育期中降雨多ク爲ニ窒素用量ノ増スニ從ツテ作物ハ軟弱トナリ腐敗病、其他害虫ノ被害激甚ナリシニ因ル而シテ三要素中加里區ハ各區共窒素、磷酸ノ各區ニ比シ其收量著シク多ク良好ナル成

續ヲ得タルヨリ見レバ濕潤ナル時ハ窒素ノ用量ヲ減シ加里ノ用量ヲ増シ強健ナル生育ヲ續ケシムベク旱天ナルトキハ之レニ反シ施肥スルノ要アルヲ認ム

二八、山東白菜腐熟肥料施用可否試験 本試験ハ左ノ三法ヲ以テ施行ス

一、大豆粕ヲ粉碎其儘施用

二、同上ヲ土壤ニ混シ豫メ腐熟セシメタルモノヲ施用

三、同上ヲ浸水シ豫メ腐熟セシメタルモノヲ施用

右ノ成績ハ第一區最モ收量多ク第三區最モ少シ之レ本年度ハ秋末ノ氣候概ネ濕潤ニ且ツ高温ナリシ爲メ遲効肥料ヲ施用シタルモノ其ノ分解適度ニシテ吸收ニ便ナリシニ依ルベシ

二九、山東白菜燻炭肥効試験 本試験ハ近時燻炭栽培ノ可否ヲ論スルモノ漸ク多キヲ以テ之レガ施用ノ可否ヲ試ミントスルモノニシテ左ノ區別ニヨリ施行ス

一、無肥料區

二、普通區(本場一般耕種法)

三、單用區

四、葉灰加用區

五、人尿尿加用區

六、糞灰人尿尿加用區

右成績ハ普通區最モ良好ニシテ單用區之レニ亞ギ無肥料區最モ劣レルヲ示セリ

三〇、山東白菜磷酸肥効試驗 本試驗ハ朝鮮產蒸製骨粉ト過磷酸石灰ト何レガ其効果著シキカラ驗センカ爲メ施行セルモノニシテ其成績ハ朝鮮產蒸製骨粉收量多カリキ

三一、山東白菜普通肥料比較試驗 本試驗ハ前年度ニ引續キ更ニ蠶蛹ヲ加ヘ八種ヲ以テ施行ス其成績ハ大豆粉及菜種粕區最モ良好ニシテ鍊粕、タンゲ、人尿尿、有機性、アンモニアト順次相亞キ乾血、蠶蛹區劣レルヲ認メタリ

三二、山東白菜化學肥料効驗試驗 本試驗ハ前年度ニ引續キ施行セルモノニシテ硫酸安母尼亞區最モ收量多ク智利硝石區石灰窒素區ハ共ニ劣レル結果ヲ呈セリ

三三、山東白菜及芝罘白菜播種期試驗 前年度ニ引續キ施行セルモノニシテ兩者共八月十日ヨリ八月三十日ニ至ル迄各五日毎ニ播種ス其成績ハ山東白菜ニア

リテハ播種期ノ遲キニ從ヒ病虫害少ク收量多キヲ示シ芝罘白菜ニアリテハ八月二十日時最モ收量多シ

三四、山東白菜畦幅株間廣狹試驗 前年度ニ引續キ施行セルモノニシテ其成績ハ畦幅二尺株間一尺二寸區收量品質共ニ優良ナリ

三五、白菜種類試驗 前年度ニ引續キ更ニ二種ヲ加ヘ施行セリ其成績ハ收量ニ於テハ安蕭白菜首位ヲ占メ海城大塊白菜、直隸白菜及開城白菜等順次之レニ亞ギ結球歩合ニアリテハ山東白菜、芝罘白菜、安蕭白菜等優良ニシテ就中安蕭白菜ハ形質共ニ山東白菜ニ酷似シ品質良好草勢強健ニシテ球葉又大良品種ト認ム

三六、休菜種類試驗 前年度ニ引續キ施行セルモノニシテ就中收量ノ多キハ蠶白菜ニシテ雪白休菜、長梗白菜、白莖休菜、順次之レニ亞ギ黑白白菜最モ少ク品質蠶白菜ニシテ優良ニシテ雪白休菜之レニ亞グリ

三七、八月時胡蘿蔔種類試驗 前年度ニ繼續施行セルモノニシテ其成績ハ收量ニ於テハ三寸瀧ノ川、西洋大長及札幌等優良ニシテ形質ニ於テハ西洋大長、札幌三寸及札幌大長ハ品質良好ナリ

三八、七月播花椰菜種類試驗 前年度ニ引續キ更ニ五種ヲ加ヘ十一種ヲ以テ施行

ス其結果ハ「チーブルス」野崎種及「アールシーヤアント」ノ三種良好ナリ
 三九、六月播甘藍種類試験 三十一種ヲ以テ施行シタルモノニシテ其成績ハ「アールサンマー」「ピアレス」「オールヘッドアール」「アールリオサ」露西亞、早生等
 良好ナリ

四〇、花椰菜播種期試験 前年度ニ引續キ施行シタルニ花蕾結成ノ良好ナルハ六
 七ノ両月播種區ナリ

四一、江南竹栽植期試験 本試験ハ從來江南竹ノ栽植ニハ竹酔日ナルモノアリテ
 其他ノ時期ニ栽培スルノ可否ヲ論スルモノアルヨリ之レヲ驗センガ爲メニシ
 テ左ノ六法ニ依リ施行ス

- 一、七月一日
- 二、六月二十七日 (舊五月十三日竹酔日)
- 三、六月二十二日
- 四、七月二十九日
- 五、九月二十六日
- 六、八月十六日

右ノ成績ハ第一區第三區第五區ハ全部活着シ第二區第四區第六區ニ於テ各一
 本宛枯死シ活着後ノ發育狀況ハ第一區及第六區最モ旺盛ニシテ第三區稍不良
 ナリ依之見ルトキハ竹酔日ナルモノ重大ナル關係ヲ有セサルヲ知り得ベシ
 四二、江南竹肥料試験 本試験ハ江南竹栽培上何レノ肥料ガ其効果多キカヲ驗ス
 ルモノニテ左ノ六區ヲ以テ施行ス

- 一、主肥 堆肥
- 二、同 人尿
- 三、同 油粕
- 四、同 堆肥、油粕
- 五、同 堆肥、人尿
- 六、同 人尿、油粕

右成績ハ未ダ判然セザルヲ以テ確定ノ後報告ス

一一、試作

款冬、土當歸、石刁柏、菜豆、刀豆、鵲豆、落花生、枝豆、梨瓜、胡瓜、甜瓜、

越瓜、冬瓜、扁蒲、糸瓜、南瓜、觀賞南瓜、茄子、蕃茄、甘藍、花椰菜、菜菔、
 菘類、蒺藜草、パースレー、塘蒿、茼蒿、甜菜、蒲公英、野蜀葵、大黃、葱頭、
 葱、百合、蕨、蠶蓬、朝鮮蓴、オクラ、フエンチン、水前寺菜、陸山葵、薑、耕
 理菊、番椒、恭菜、牛蒡、胡蘿蔔、薯蕷、青芋、甘藷、馬鈴薯、蒺藜門參、亞米
 利加防風、蓼、菊芋、ストック、筆頭菜、ナス、タチウム、蓂荷、玉蜀黍、セージ
 分葱、芥菜、韭菜、番杏、蕪菁、紫蘇、シークエール、カトニツク、チコリー、ク
 レス、山椒、タム、ニンニク、マルチニア、等七十六類二百九十三種ヲ試作シ
 優良ト認メタルモノハ採種増殖ヲ圖リ種苗ノ配布ニ努ム

三、輪栽摸範栽培

四十三年度ヨリ繼續施行セルモノニシテ全面積四反八畝歩ヲ二十四區ニ區劃シ各
 區二畝歩宛トシ七年輪栽五年輪栽ニ別チ輪栽ノ方法並ニ其栽培ノ摸範ヲ示シ且ツ
 經濟上ノ調査ヲ爲サントスルモノニシテ之レニ栽培スル蔬菜ハ縣下重要ナルモノ
 及試驗ノ結果優良ト認メタル品種ヲ以テセリ本年度栽培セルモノ左ノ如シ

五年輪栽(甲)

一區	麥	甘藷	菜菔
二區	胡蘿蔔	葱	
三區	麥	茄子	蒺藜草
四區	麥	西瓜	白菜
五區	豌豆	甘藍	
五年輪栽(乙)			
一區	麥	南瓜	白菜
二區	麥	鵲豆	
三區	葱頭	越瓜	菜菔
四區	馬鈴薯	塘蒿	
五區	麥	蕃茄	白菜
七年輪栽			
一區	葱頭	梨	白菜
二區	麥	芋	春福大根
三區	麥	薑	

- 四 區 麥 茄子 蕪菁
- 五 區 甘藍 胡蘿蔔
- 六 區 夏葱 若牛蒡
- 七 區 蠶豆 返大根 花椰菜

以上ノ外石刁拍、欸冬、土當歸等ノ累年作物ヲ栽培ス就中收益多カリシハ欸冬、石刁拍、茄子、蕃茄、鵲豆、甘藍、葱等ナリ

四、促成栽培

一、茄子種類試験 前年度ニ引續キ更ニ一種ヲ加ヘ六種ヲ以テ施行ス其成績ハ本縣在來促成用中生千成、原島、佛四十六號等良好ナリ

一、洋甜瓜種類試験 五種ヲ以テ施行ス其成績ハ「ブラグゼム」「アクメ」收量多ク「アールーハツケンサツク」最モ少シ品質ハ「アクメ」「ブラツクゼム」「エメラルドゼム」優良ナリ

其他胡瓜、菜豆、鵲豆、南瓜、冬瓜、欸冬、蕨草、蕃茄、蕃椒、石刁拍、水前寺菜、豌豆、若荷、薑等試作セリ内最モ收益多キハ胡瓜、菜豆、鵲豆、石刁拍、冬瓜、草苺等ナリ

五、玻璃室栽培

洋甜瓜及蕃茄試作ヲナシタルニ兩者共其成績良好ニシテ收利多シ

六、軟化栽培

塘蒿、土當歸、石刁拍等施行セシニ該室ハ終年陽光ノ投射スルコトナキヲ以テ酸酵物ヲ填充スルモ其發熱不良ナリ故ニ來年度ヨリ該室内ニ熱湯管ヲ導入シ試作ヲ行ハントス

七、種苗ノ配布

本年度ニ於テ配布セシ品名及數量ハ左ノ如シ

品名	數量	配付人員
越瓜	一〇	七
茄子	二二	九
胡瓜	二八	八
南瓜	六〇	七

大	山	方	宮	食	高	除	波	亞	非	ビ	蕃	六	廿	蕃
治	東	領	重	用		虫	羅	米				日		
蕪	白	大	大	大		門	加	利				大		
菁	菜	根	根	黃	莖	菊	參	風	菜	ト	茄	根	根	椒

二〇〇	二二〇	三八〇	二五〇	一五〇	一〇〇	〇五〇	〇五〇	〇五〇	〇五〇	〇五〇	一〇〇	〇五〇	〇五〇	〇三〇
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

一九	三一	二二	二〇	一三	一三	一三	一四	一	一四	一五	一三	一	一	三
----	----	----	----	----	----	----	----	---	----	----	----	---	---	---

枝	豈	菜	鵲	塘	玉	石	甘	扁	苦	糸	甜	梨	西	冬
豆	豆	豆	豆	蒿	黍	拍	藍	蒲	瓜	瓜	瓜	瓜	瓜	瓜

〇五	二〇	三〇	一五	〇三	一五	〇五	二五	〇五	一〇	一〇	二〇	四〇	五〇	四〇
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

二	六	二	五	一	三	四	一	一	六	二	八	九	一	二	四	六	六	五	三
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

開城白	雪白	碗豆	葱頭	越津	千住	九條	牛蒡	觀賞	馬鈴薯	促成	全胡瓜	全菜豆	全茄子	全胡瓜	全	全
一、二五	一、五〇	四、〇〇	一、三〇	七、七〇	七、〇〇	三、三五	六、〇〇	五、〇〇	二、五〇	一、一八	二、〇〇	六、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	八、〇〇
一五九	一五九	一三五	一二九	六六九	六六九	三三五	一一九	二〇〇	一一二	四四五	四〇〇	四四五	四四五	四四五	一一二	八

八、委託採種

前年度ヨリ引續キ施行セルモノニシテ本場監督ノ下ニ確實ナル種子ヲ多量ニ採種セシメ一般需用者ニ供給セリ而シテ本年度委託採種地左ノ如シ

宮重	方領	山東	雪白	開城	午莠	胡蘿	蕪菁	梨瓜	早生
西春日井郡春日村大字宮重	海部郡甚目寺村大字方領	愛知郡荒子村大字中須	中島郡稻澤町大字稻澤	同郡祖父江町大字三九淵	丹羽郡古知野町大字兩高屋	同郡布袋町大字寄木	海部郡大治村大字長牧	愛知郡笠寺村大字鳴尾	同郡荒子村大字打出

晚生 甘藍 西春日井郡清洲町大字清洲
 葱頭 知多郡横須賀町
 花椰菜 全町
 漬物大根 愛知郡御器所村大字御器所

温室

多ク前年度ノ繼續事業ニシテ熱帯産花卉及觀賞植物ノ栽培ヲ主トシ其他花卉果樹、
 蔬菜ノ促成栽培ヲ行ヒツ、アリ其梗概左ノ如シ

一、花卉種類

本試験ハ温室及温床露地等ニ於テシ供試種類ハ合計五百七十六種鉢數五千七百三
 十六ニシテ其品名左ノ如シ

蘭科
 カトレヤ 十七種 シプリベジウム 十三種 デンドロビウム 十四種
 オンシヅユーム 九種 レリヤ 七種 オドントグロサム 五種

セロシネー	六種	ツニヤ	アダー
マスデバリヤ		シンビヂユーム	カランセー
ブラシヤ		ミルトニヤ	バルホクヒラム
ビフレナリヤ		エビデンドラム	クラマトフヒラム
ブラサボウ	二種	ユリデス	チレ
レナンセラ	二種	サツコラビユーム	スコンバキヤ
アキネタ		レリカトレヤ	アングレールカム
リカステ	一種	セレンベヂユーム	バンダー
馬蹄蘭		篠葉石解	素心蘭
鶴頂蘭		君子蘭	芭蕉蘭
觀賞植物			
アジアンタム	三種	ネベンセス	アンツリユーム
パンダナスビイチ		サンセベリヤ	ハニカム
ペリオナ		アキラシス	コリユース
ベコニヤ	十種	球根ベコニヤ	クリブタシサス

アジアンタム	三〇	ポインセチヤ	八〇	カーネーション	一〇〇
アネモネ	二〇〇	アマリリス	五〇	シネラリヤ	四〇〇
カルセオラリヤ	一〇〇	ミムラス	五〇	ブリムラ	三五〇
シクラメン	二〇〇	グロキシニヤ	二〇〇	ペコニヤ	三〇
球根ペコニヤ	一〇〇	フリジヤ	一〇〇	扶桑花	三〇
レナンキユラス	二〇	君子蘭	二〇	クレロデンドロン	二〇

一、花卉ニ對スル花粉交配試験

本試験ハ珍奇艶麗ヲ好ム花卉ニ對シテハ特ニ重要ナル事業ニシテ四十四年ヨリ繼續シツ、アリ本年「セラニユーム」ニ於テ八種ノ優良種ヲ作出シ其他「シネラリヤ」「ダリヤ」菊等ニ於テモ亦二三ノ良變種ヲ認ムルト雖モ尙固定セザル如シ

三、切花用花卉ノ促成

前年度ヨリ繼續ニシテ種類ハ鉢植ニテハ牡丹、百合、櫻、躑躅、藤、木蓮、菊等ニシテ切花ニ於テハ梅、ムシカリ、サンシ、木蓮、櫻桃、蠟梅、蓮翹、小米櫻、ウグイスカズラ、椿ノ十一種ニシテ尙試験中ナレモ多クノ植物ハ一定ノ時期ヲ經過セザレバ温室内ニ取入レ加熱

スルト雖モ反テ發育セズ

四、葡萄種類試験

前年度ノ定植ニシテ其種類ハ歐洲種八種ナリ生育良好ニシテ本年「フラスター」「シードリンク」「ゴールデンクイン」「クロイコイルマン」「ブラツクハンブルク」ノ四種ハ少シク結實ヲ見タリ

五、トマト及苺促成

試験ニ供セシ種類ハ兩者共各二種類宛ニシテ目下温室ニ於テ施行中ナリ

六、メロン種類及土壤試験

供試種類ハ前年ニ全シク七種ニシテ本年度ハ「ヒーロー」「オフロツキング」「サットン」第一號成績良好ニシテ又土壤試験ニ於テハ收穫多キハ砂質土ナレモ肉質風味ノ佳良ナルハ粘質土ノ者優レルヲ認メタリ

近來園藝ノ發達ニ伴ヒ營利ニ娛樂ニ高等栽培ヲ行フモノ或ハ花園ヲ設立スルモノ等多ク參觀者ノ如キ實ニ三萬二千二百六十人ノ多數ニ激増セリ從テ種苗ノ請求、温室花園ノ設計等モ益々増加シ其設計ニ應ゼシモノ二十箇所ニシテ種苗ノ配布數量卅二種七百四十袋ニ及ヘリ

畜産部

一、試験事業

本年度ニ於テ施行セル試験ハ概シテ前年度ニ繼續シタルモノナレトモ其ノ主力ハ名古屋交趾種ノ改良及飼料經濟試験ニ傾注シタリ其成績ノ概要左ノ如シ

一、種類試験 過去數年來ノ試験成績ニ徴シ其ノ優良ナリト認メタル左ノ各種類

ニ就キ更ニ同一ナル飼育管理ノ下ニ其ノ優劣ヲ試験セリ

肉用種 淡色プラマ バフコーチン

兼用種 名古屋交趾 白色ワイアンドット

黒色オービントン 横班ブリモースロツク

卵用種 白色レグホン 褐色レグホン

銀色ハンバーク 黒色ミノルカ

右ノ内肉用種ノ淡色「プラマ」バフコーチンハ飼養管理並ニ育雛ニ付テハ格段ナル差異ヲ認メサレドモ産卵健康状態等ニ於テハ淡色「プラマ」ノ方優リタルガ如シ即チ「バフコーチン」種ハ下痢スルコト極メテ多ク從テ産卵肥肉共ニ惡シキ結

果ヲ認メタリ

兼用種ニ於テハ名古屋交趾、白色ワイアンドット最モ優良ニシテ共ニ産卵能力体ノ健康、雛ノ成育状態等ハ畧々同一ナルモ換羽期中ニ産卵スルコト、成熟期ノ早キコト、密集育ニ堪ユルコト等ノ諸点ハ名古屋交趾種特徴ニシテ白色ワイアンドット種ニ比シ遙ニ優リタルガ如シ、又産卵種ニ至リテハ白色レグホン、褐色レグホン種産卵力、体ノ强健、雛ノ成育、熟期ノ早キコト等ニ於テ共ニ好成績ニシテ實用的産卵鶏トシテハ此ノ二種ヲ凌クモノ無カラン就中白色レグホン種ノ雛ハ頗ル强健ニシテ育雛モ容易ナレバ人工孵化育雛ニ適セリ

銀色ハンバーク種ハ体强健ニシテ産卵スルコト多ケレモ性質喧騒ニ過キ多數飼飼ニ適セズ、然レモ之ヲ名古屋交趾種ニ交配シテ一代雜種鶏ヲ作出スル時ハ性温和ニシテ强健多産ナル實用鶏ヲ得ルモノナリ

黒色ミノルカ種ニ至リテハ大卵稍多産ナレトモ換羽期間ノ休産期非常ニ長キハ本種ノ欠点タリ

要スルニ狭柵育ニハ名古屋交趾種最モ適シ放飼若シクハ完全ナル飼養設備ノ下ニハ白色レグホン種等良好ナラン

二、多産系作出試験(産卵増進) 前年度ヨリ繼續施行セルモノニシテ第三代淘汰鶏
二十羽中最モ多産ニシテ標準体型ト固有ノ性質トヲ具備スル左記七羽ヲ選拔
種禽トシテ四代鶏ノ繁殖ヲ行ヘリ

第一號	十八ヶ月産卵數二〇〇	第五號	全	二一二
第十三號	全	第四號	全	一九五
第九號	全	第二號	全	二二四
第十四號	全	第十一號	全	二二四

即チ本年度二月七日母鶏ヲシテ抱卵セシメ三月一日孵化シ天然育雛ニ依リ唯
鶏二十二羽ヲ得タリ初産卵ハ八月十五日ニシテ以後三代鶏ト同一ノ方法ニ依
リテ試験ヲ開始セリ

本試験ニ關シテハ第一代ヨリ種禽ノ撰擇ハ最モ嚴正ニ行ヒ他血ノ混入等ハ絶
對ニ避ケタリ然ルニ第四代目ニ至リ突然頭上ニ毛冠上羽毛アルモノ三割ヲ生
シタリ之レ四代以前ニ祖先ニ毛冠性ノ血液ヲ混シタルモノアリテ復版遺傳ノ
法則ニ支配サレ偶々數代後ノ本四代鶏ニ突然現出シタルナリ
尙四代鶏ヨリハ更ニ産卵ト体量増減トノ關係ヲモ試験セントシ附帶試験トシ

三、

飼料經濟試驗 本試験ハ動物質(鶏及魚腸骨)大豆粕、青草ノ飼料價值ヲ確メシ
テ毎月一回各鶏ノ体量ヲ秤量スルコトトセリ

- 第一區 標準區 供試鶏雌十二羽 四十五年三月孵化
- 第二區 動物質加與區 全
- 第三區 大豆粕加與區 全
- 第四區 大豆粕青草區 全

右飼料ノ配合ハ第一區ノ米糠、麥糠、糞ヲ各等分トシ第二區ハ第一區ト同一ノ飼
料ニ四月二十五日迄ハ鶏腸骨一日五十匁ツ、全日以後ハ魚粉一日三十匁ツ、
ヲ加與第三區ハ全第一區ト全飼料中ニ大豆粕一日三合ツ、加與第四區ハ單ニ
米糠中ニ大豆粕一日三合青草全三百匁ツ、ヲ加與スルコト、シ食慾増進ノ際
ハ試験主眼物タル動物質、大豆粕及青草ノ料ニハ斟酌ヲ加フルコトナク第一區
ノ飼料配合ニ比例シテ増減ヲ行ヒ水及貝殼粉ハ各區共ニ常備シ鶏ノ飲食ニ任
セタリ而シテ飼料ノ容量、代價、産卵數及排糞量等ハ毎日秤量計算シ体量ハ十日
目毎ニ秤量シ以テ其ノ收支並ニ鶏ノ肥脊、健康狀態等ヲ比較セリ

即チ一ヶ年間ニ於ケル産卵數ハ第四區ノ八百八十九顆ヲ第一位トシ第二區ノ七百四十九顆第三區ノ五百三十三顆第一區ノ四百二十顆ナル順序ニシテ第四區ハ第一區ニ比シ倍額餘ノ産卵ヲナセシモ飼料容量ハ反テ全區ヲ通シテ最少量ニシテ全代價ハ第三、第二、第四、第一ノ順序ニ安ク排糞量ハ第四區最多量ニシテ第一區最少量ナリ又之ニ含有スル成分ヲ檢スルニ第四區最モ尠ク第三區最モ多トス

之レニ依リ差引計算ヲナス時ハ益金第一區ハ四圓卅六錢四厘第二區ハ全十一圓十九錢七厘第三區全六圓一錢三厘第四區全十四圓三十錢八厘ニシテ第四區ノ大豆粕、青草區最高無比ナリ

之レニ依テ之レヲ見レバ飼料配合法ノ産卵ニ及ホス關係ノ如何ニ大ナルカヲ知ルベク大豆粕ハ青草類ノ加與ニ依リ始メテ充分消化吸收セラレテ偉大ナル効力ヲ發揮スルモノニシテ動物質ノ給與ハ無給與ニ比シ遙ニ有効多收ナル事實ヲ認メタリ此ノ外換羽期ノ状態ハ第二、第四區ハ良好ニシテ依然産卵ヲ繼續シタレトモ第一、第三區ハ概シテ不良ニシテ殊ニ第一區ノ如キハ營養不良ノ爲メ衰弱甚シク八月中旬ヨリ全ク休産セリ又孵化育雛ニ至リテハ第二區優良ニ

シテ第一區最モ劣レリ

本試験ハ尙反復施行スル必要アレバ今後之レガ試験ヲ繼續シ以テ確實ナル成績ヲ擧ケントス

四、育雛試験 人工天然育雛ノ優劣並ニ育雛ニ用ユル飼料ノ種類ニ依リ發育ニ及ホス關係等ヲ試験スルモノニシテ同上施行中ナリ

一、種 禽 繁 殖

種禽ノ繁殖並ニ種禽種卵ノ配付

試験ノ成績ニ依リ優良ト認メタル純粹種ノ繁殖ヲ行ヒ種禽ノ交代ヲナス外一般當業者ノ需要ニ應ジタリ然レモ希望者頗ル多數ナリシ爲メ限リアル收量ヲ以テシ到底満足ヲ與フル能ハサリシハ實ニ遺憾ナリキ本年度ニ於テ拂下タル種禽種卵ノ數量及人員左ノ如シ

種 類	産卵數	人員	種禽數	人員
名古屋交趾	三三三五	一〇二	五八	一二
黑色ミノルカ	二五七	二六	二七	一〇

パフコーチン	三	一	〇	〇
横班ブリモース	一二五	一四	一一	五〇
白色レグホン	五二六	三一	七〇	一五
銀色ハンバーク	二〇五	一九	三	二
白色ワイアンドット	二二二	二〇	三一	八
褐色レグホン	三二〇	二四	一〇〇	一五
黒色オーピントン	六六	八	〇	〇
アングアルシヤン	二八	四	〇	〇
吐 綬 鶏	一〇五	六	二	一
支 那 鶩	二八	三	七	三
合 鴨	〇	〇	二	一
エンムデン	四	一	〇	〇
計	五〇二四	二五九	三一一	七二

三、委託試験

本年度ヨリ尾張三河各一ヶ所ツ、ノ委託試験ヲ設ケ種禽種卵ノ配布不足ヲ補ハンガ爲メ左記ノ者ヲ選定シ嚴密ナル監督ノモトニ種禽種卵ノ生産ヲ行ハレシメントス但シ事業ハ大正三年度ヨリ始ム

三 河 渥美郡二川町 志滿津哲太郎
尾 張 未 定

四、養 豚

廢物利用養豚獎勵ノ目的ヲ以テ仔豚ヲ繁殖セントシ種豚トシテ本年一月生バークシヤ種牝各一頭及バークシヤ在來種雜種牝各一頭ツ、ヲ飼養ス

雜之部

一、出張

本年度中場員ノ出張左ノ如シ

出張ノ種類	回数
農事講話	九二
同實地指導	六八
同實地調査	一三〇
委託試驗地監督	三三
品評會及共進會審査	四五
其他	五三三

二、印刷物

印刷物種類
農事試驗成績彙編

部數
一、〇〇〇

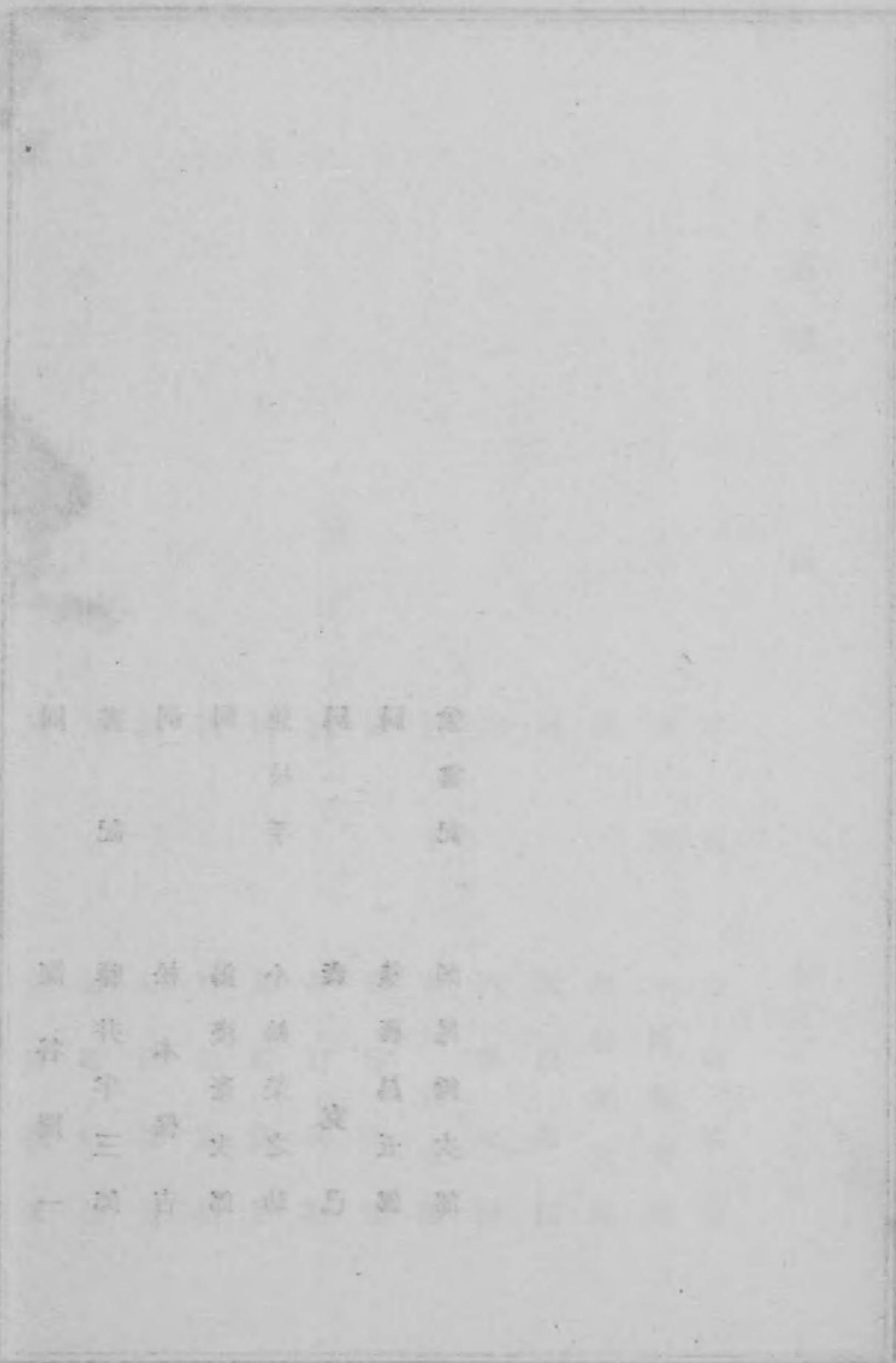
業務功程 <small>四十五年 大正元年度</small>	一、〇〇〇
夏作試驗說明	一、〇〇〇
農事試驗成績 <small>粟及白菜</small>	一、〇〇〇
普通作物栽培法	一、〇〇〇
肥料學大意	一、〇〇〇
肥料配合圖	一、三〇〇
蔬菜栽培手引	一、〇〇〇
農作物病害論	三〇〇
三、文書受發	
受 一八、五〇三	發 一二、五三一
四、參觀人	
貳萬三千七百七十二人	
內 一萬九千六百九十七人 <small>(清洲)</small>	
四千七十五人 <small>(安城)</small>	

大正三年五月廿九日印刷
大正三年五月三十日發行

愛知縣立農事試驗場

印刷者 英比貞造
愛知縣名古屋市中區榮町六丁目拾壹番地

印刷所 扶桑新聞社
愛知縣名古屋市中區榮町六丁目拾壹番地
電話四二四番



1424
104

大正三年正月三十日發行
大正三年五月廿五日印刷

愛敬親友同好諸君

田園香

英法良畫

田園香

井茶 藤田 井

愛敬諸君自以中道外獲六丁日為幸甚

愛敬諸君自以中道外獲六丁日為幸甚

愛敬諸君自以中道外獲六丁日為幸甚

終

